

令和 6 年度学生満足度調査
報告書

令和 7 年 3 月
沖縄県立芸術大学

令和6年度学生満足度調査報告書 目次

第1章 調査の概要

1-1 調査目的	1
1-2 実施スケジュール	1
1-3 対象学生	1
1-4 調査内容	1

第2章 総括

2-1 学生生活の状況について	2
2-2 大学についてのイメージ（Q7～Q8）	3
2-3 大学の施設や教育体制、支援体制について	3

第3章 調査結果

3-1 学生生活の状況について	6
Q1 住まいの状況	6
Q2 通学時間	6
Q3 通学手段	7
Q4 奨学金の受給状況	7
Q5 アルバイト状況	8
Q6 アルバイトによる授業・課題への影響	9
3-2 大学についてのイメージ	9
Q7 入学前と比べた、現在の大学のイメージ	12
Q8 Q7について、そのように感じる場面	13
3-3 大学の施設や教育体制、支援体制について	11
Q9.図書館の利用状況	11
Q10.図書館の要望	11
Q11.保健室の利用状況	12
Q12.健康管理やカウンセリング体制	13
Q13.健康管理やカウンセリング設備の要望	13
Q14.体育館の利用状況	15
Q15.体育館の要望	15
Q16.シャトルバスのダイヤやタクシー利用の満足度	16

Q 17.全体オリエンテーションの要望	----17
Q 18.全学・資格過程オリエンテーションについての要望	----18
Q 19.全学履修相談についての要望	----18
Q 20.各専攻別オリエンテーションの要望	----19
Q 21.シラバスの要望	----19
Q 22.パソコン設備の要望	----20
Q 23.U N I P Aの観覧頻度	----21
Q 24.U N I P Aの運用についての要望	----21
Q 25.初年次セミナーの満足度	----22
Q 26.初年次セミナーの要望	----23
Q 27.リテラシー科目の要望	----24
Q 28.健康・運動科目の要望	----25
Q 29.その他全学教育科目の要望	----26
Q 30.専攻カリキュラムの満足度	----27
Q 31.専攻カリキュラムの要望	----27
Q 32.教職課程科目の要望	----30
Q 33.博物館学課程科目の要望	----31
Q 34.昼食手段	----32
Q 35.授業以外での学校環境の満足度	----35
Q 36.学生食堂の満足度	----37
Q 37.学生食堂の要望	----39
Q 38.事務職員対応の満足度	----40
Q 39.事務職員対応の要望	----40
Q 40.卒業後の進路希望	----42
Q 41.就職相談ガイダンスや支援アドバイザー	----42
Q 42.進学・就職に関する教員の説明指導	----43
Q 43.進学・就職に関する要望	----43
Q 44.学生生活満足度	----45
Q 45.その他要望・意見	----45

第4章 クロス集計

4 – (1)、(2) -----47～57

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本学に在籍している学生（全学部・大学院生）の学生生活を把握するとともに、生活、健康、修学、課外活動、キャンパス（施設）等の満足度を調査し、今後の修学支援・福利厚生等の改善に活用することを目的とする。調査内容は経年変化を測るため、原則として前回の調査項目をベースに構成することとする。

2. 実施概要

・調査方法：オンライン Web アンケート

・調査実施期間：令和6年12月16日～令和7年1月31日

3. 対象学年：学部生・大学院生 557名(R6年5月1日現在)

回収数：257（R7年2月3日時点）

4. 調査内容

■ 学生生活の現状について 1.住まいの状況 2.通学時間 3.通学手段 4.奨学金の受給状況 5.アルバイト状況 6.アルバイトによる授業・課題への影響 ■ 大学についてのイメージ 7.入学前と比べた、現在の大学のイメージ 8.Q7について、そのように感じる場面 ■ 大学の施設や教育体制、支援体制について 9.図書館の利用状況 10.図書館の要望 11.保健室の利用状況 12.健康管理やカウンセリング体制 13.健康管理やカウンセリング設備の要望 14.体育館の利用状況 15.体育館の要望 16.シャトルバスのダイヤやタクシー利用の満足度 17.全体オリエンテーションの要望 18.全学・資格過程オリエンテーションについての要望 19.全学履修相談についての要望 20.各専攻別オリエンテーションの要望 21.シラバスの要望	22.パソコン設備の要望 23.UNIPAの閲覧頻度 24.UNIPAの運用についての要望 25.初年次セミナーの満足度 26.初年次セミナーの要望 27.リテラシー科目の要望 28.健康・運動科目の要望 29.その他全学教育科目の要望 30.専攻カリキュラムの満足度 31.専攻カリキュラムの要望 32.教職課程科目の要望 33.博物館学課程科目の要望 34.昼食手段 35.授業以外での学校環境の満足度 36.学生食堂の満足度 37.学生食堂の要望 38.事務職員対応の満足度 39.事務職員対応の要望 40.卒業後の進路希望 41.就職相談ガイダンスや支援アドバイザー 42.進学・就職に関する教員の説明指導 43.進学・就職に関する要望 44.学生生活満足度 45.その他要望・意見
--	---

第2章 総括

【はじめに】

令和6年12月16日～令和7年1月31日に、本学の全学部生、大学院生の計557名を対象として、令和6年度「学生満足度調査」（第4回）を実施し、その46%にあたる257名から回答を得た。本調査の実施結果について、以下に報告する。

本調査全体の回収率は46%と、過去2回の調査と比較すると、前回調査（令和4年度）が52.6%、前々回調査（令和1年度）の51%と割合が減少している。

以下の報告書の中では、継続調査として過去調査との時系列比較が重要であることから、各質問項目の集計結果について、前回調査（令和4年度）、前々回調査（令和1年度）、その前（平成28年度）との比較や特徴的な傾向についてコメントを追記している。さらに、設問項目の要望の有無については、クロス集計でまとめている。また、自由記述についても、参考として記述する。

2-1 学生生活の状況について（調査結果については第3章調査結果を参照）

学生の住まい・通学状況について（Q1～Q3）

学生の住まいについて、「アパート」が約4割、「自宅」が5割と前回調査と大きな差異はなかった。通学時間については、「30分未満」が59.5%→53.7%、「15分未満」24.0%→22.6%、「15～30分未満」が35.8%→31.1%と減少している。一方、「30分～1時間未満」が30.9%→35.0%に増加した。通学手段については、「乗用車」の割合が最も高くなっているが、前回の4割からは1割減。「徒歩」は半減している。

学生の経済状況について（Q4～Q6）

奨学金の受給率は46.7%と、過去2回の調査と比較すると、受給者の割合は減少している。アルバイトの実施率は65.8%と、過去2回の調査と比較し最も高くなった。学生の経済状況は依然として厳しい状況であると推測できる。アルバイトをしている学生が最も多い時間帯は「週10時間～15時間未満」が最も多く、続いて多い時間帯が「20時間以上」32.5%となっており、学業への影響も懸念される。

その影響もありアルバイトによる授業や課題への影響については、アルバイトをしている学生では、授業への影響を「そう思う」「ややそう思う」で33.8%と過去2回の35.2%（令和4年度）、24.6%（令和1年度）と比較しても増減している。また、「そうは思わない」「ややそうは思わない」の割合は47.7%（令和1年度）をピークに、39.5%（令和4年度）、43.2%（令和6年度）となっている。

2-2 大学についてのイメージ（Q7～Q8）

「イメージ通り」43.2%、「イメージと違う」36.6%となった。イメージと違った部分については、自由記述でプラスイメージとマイナスイメージで分類しまとめた。

2-3 大学の施設や教育体制、支援体制について

大学施設の利用状況と要望について（Q9～Q16）

Q9 図書館の利用状況について

前回 6 割を超えた、「殆ど利用しない」の割合 5 割に減少。「週に 3 回以上」「週に 1 ～ 2 回」「月に 1 ～ 3 回」の合計の割合が前は 4 割程度であったが、今回は約 5 割となった。前々回（令和 1 年度）の合計も約 5 割であったことから、前回の利用割合の低さはコロナ禍の影響もあったと推測される。

Q10 図書館の要望について

「ある」の回答はほぼ前回と同様であった。要望意見として多かったのは、Wi-Fi、空調といった設備面と開館時間についての要望が多くなっている。特に授業終了後に利用したいという要望が多くなっている。

Q11 保健室の利用状況について

「ほとんど利用しない」は、ほぼ前回と同様 88.7%であった。自由記述では、利用したいときに空いていない。開いている日の確認が難しい。などの要望があった。

Q12 健康管理やカウンセリングの体制についてどう思いますか

「充実している」が 10%（令和 1 年度）→13.8%（令和 4 年度）→20.2%と上昇している。

Q13 保健室やカウンセリングルームの設備、運用について、利用しやすくするための要望

前回の 5%から 7%へ微増した。自由記述では、複数のカウンセラーの配置を希望する声が散見された。

Q14 体育館の利用状況について

「ほとんど利用しない」（77.4%）の割合が最も高く、過去調査との差異はない。ほとんど同様である。

Q15 体育館の設備、用具、運用についての要望について

「ある」の割合が、前々回、前回に続き減少している（4.7%）。施設の老朽化に関係した要望が多い。

Q16 シャトルバスの満足度について

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は前回（32.9%）とほぼ同様（33.1%）。「不満」「やや不満」を合わせた割合は 8.5%から 4.6%と減少傾向が続いている。要望は、前回と同じく、タクシーやシャトルバスの運行本数の増便や時間の延長が挙げられている。

教育環境およびカリキュラムに対する要望について（Q17～Q33）

Q17～21 全体オリエンテーション、全学・資格課程オリエンテーション、全学履修相談、各専攻別オリエンテーション、シラバスについての要望は「要望なし」の回答が約 9 割となっている。

Q22 パソコン設備の要望について

前回調査と同様に 9 割が「要望なし」となっている。

Q23 UNIPA の閲覧頻度

「毎日」「数日に 1 回くらい」「1 週間に 1 回くらい」の割合は約 7 割と大きな差異はないが、「毎日」は 20.1%→16.7%と減少。「ほとんどみない」0%→7.8%となり、学生の要望を反映した修正が必要

Q24 UNIPA への要望

スマホ対応やログインの不便さの改善を求める声、アプリや通知機能を求める声が多かった。

Q25 初年次セミナーに対する満足度

「満足」（28.4%）、「やや満足」（31.5%）で 5 割を超えるが、「どちらとも言えない」の割合（36.2%）が最も高くなっている。

Q26 初年次セミナーへの要望

前回と大きな差異は無かった。

Q27～29 リテラシー科目、健康科目、全学科目の要望について

いずれも「要望なし」の割合がそれぞれ 9 割を超えた。

Q30 専攻カリキュラムの満足度

「満足」「やや満足」を足した割合が前回の 80.6%から 85.6%に上昇した。一方、「やや不満」の割合が微増（2%→3.5%）となっている。

Q31 専攻カリキュラムに対する要望

「ある」の割合（11.7%）の割合が過去と比較して最も高くなっている。

教職課程科目の要望をみると、1 割の学生で「ある」と回答し、教職科目と他授業との授業時間等、多岐にわたるコメントが挙げられている。博物館学課程の要望をみると、開講時間に関する意見が見受けられる。

Q32 教職課程への要望

「ある」の回答が前回の 4.9%から 7.8%と増加した。授業時間への改善要望があった。

Q33 博物館学過程への要望

「ある」の回答が 1.3%から 3.5%と僅かではあるが増加している。

Q34 昼食について

今年度から新形式で実施。「自宅からの弁当持参」（31.7%）「学外での弁当・パン購入」（24.6%）、「学生食堂」（17.7%）「その他」（15.9%）「学外の食堂」（10%）の順となっている。「自宅から弁当持参」は、週に 1 回（48 名）、週に 5 回（45 名）が多く、「学外での弁当・パン購入」は週に 3 回（40 名）、週に 2 回（39 名）となっており、週 5 日昼食をとっていない可能性も推測される。「その他」15.9%のうち 3 割は昼食を食べないという回答もそれを裏付けている。昼食が取れない要因としてバス移動や金銭的な理由を挙げていることから崎山キャンパスの学生で昼食を取っていない学生の割合が高いと考えられる。

Q35 授業以外での学校の環境（施設設備）に対する満足度

今年度からの新設した質問。「満足」「やや満足」を足して約 6 割となっている。

施設の老朽化に関連した改善の要望が多岐に渡って挙げられている。

Q36 学生食堂に対する満足度

リニューアルの影響もあり、「満足」と答えた割合が前回の 16.4%から 28.8%と大きく向上した。

自由記載でも「美味しくなった」という意見が最も多く、食堂運営スタッフの学生への寄り添った姿勢を評価するポジティブな意見が多くなっている。一方、これまでの食堂のイメージから利用していない学生も一定数いることや崎山キャンパスへの移動で食堂を利用できないという声もある。

Q37 学生食堂の提供する食事（営業方法など）に対する要望

「ある」の割合（12.5%）が過去 3 回と比較して最も低くなっている。

事務職員対応について（Q38～39）

事務職員対応の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は前々回から 63.4%→61.2%→72.7%と今回が最も高かった。それに伴い、要望が「ある」の回答割合も低くなっている。

進路・就職支援について（Q40～43）

Q 40 卒業後の進路希望について前回は「未定」（26%）が最も高い割合となっていたが、今回は「進学」（26.1%）の割合が最も高くなっている。「未定」は今回も 25.7%と依然として高い割合となっている。「留学」3.0%→1.6%。「教員」6.9%→8.6%。「民間企業」22%→22.6%。「自営・起業フリーの芸術活動」14.8%→12.8%。と大きな変動はない。

Q 41 就職支援アドバイザーについて

「役に立った」25%→22.2%と減少。「役に立たなかった」1%→2.7%と微増。一昨年度から配置日数の減少や当蔵キャンパスの体制に変更があったことが影響していると考えられる。それに伴って「利用したことがない」は 57.6%→63.8%と増加している。

Q42 就職や進学に関する教員の説明や指導について

すべての項目について大きな差異はなかった。

Q43 進学や就職に関する指導や説明についての要望

前回と大きな差異はなかったが。要望は多岐に渡っている。

学生生活満足度について（Q44～Q45）

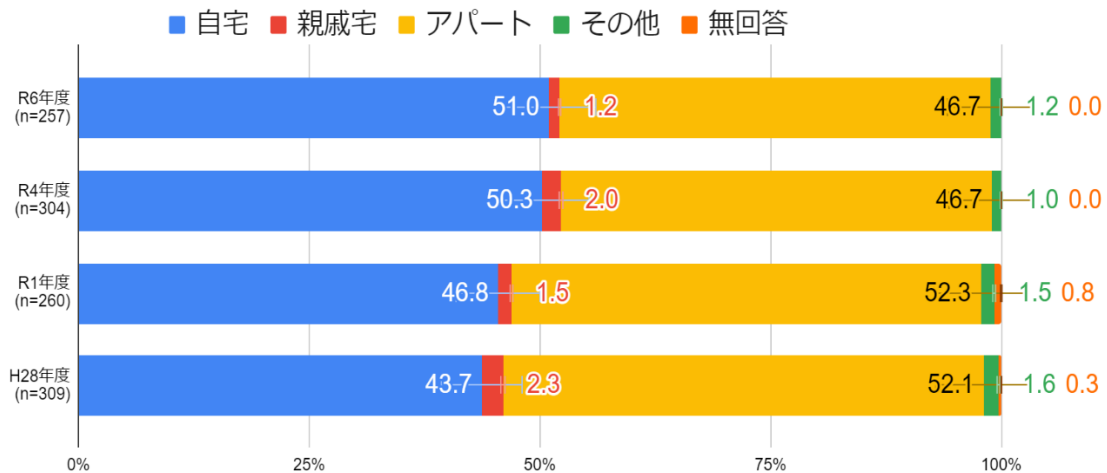
現在の学生生活満足度については、「満足」（38.9%）と「やや満足」（44.7%）を合わせた割合は 83.6%と、前回調査（77.6%）前々回調査（65%）と上昇が顕著となっている。満足度別の要望の有無については、「不満」「やや不満」はそれに伴って低下している。

第3章 調査結果

3-1 学生生活の状況について

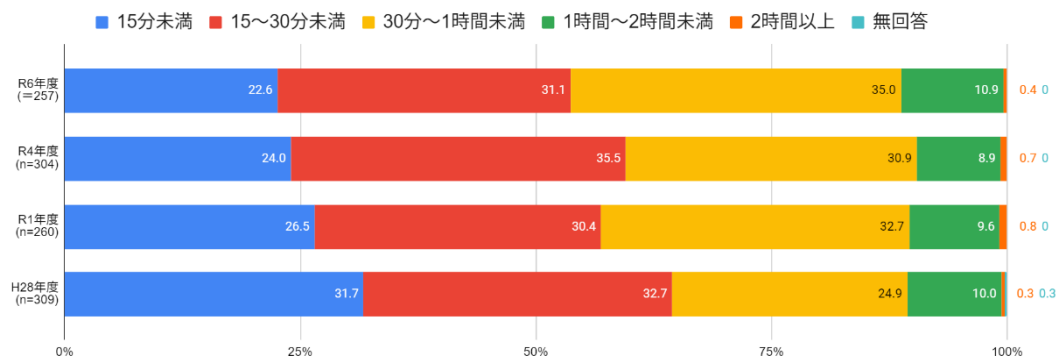
Q1 住まいの状況（あなたの現在のお住まいについて教えてください。）

住まいの状況について、「自宅」の回答が51.0%と最も高く、「自宅」が46.7%と続く。
過去3回から「アパート」の割合の低下傾向が続いている。



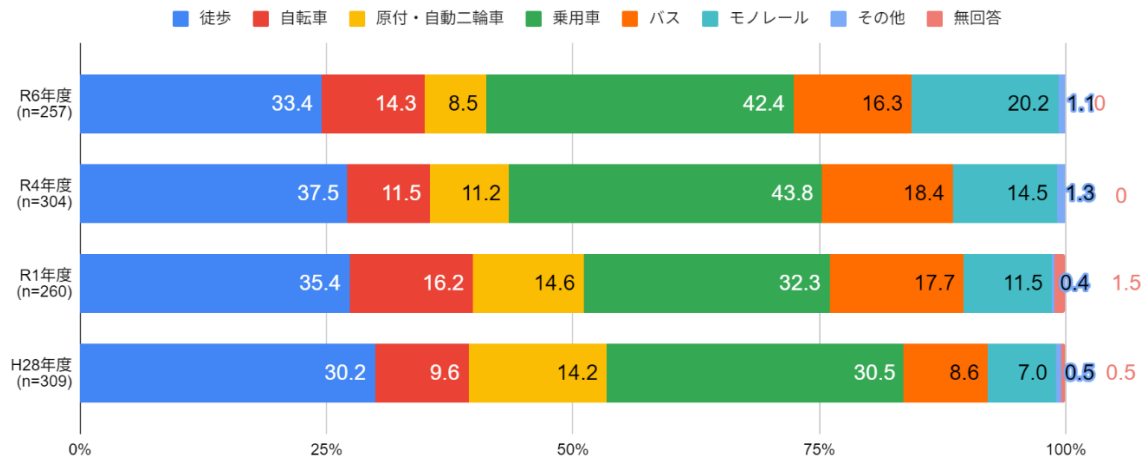
Q2 通学時間（あなたの住まいから大学（専攻があるキャンパス）までの通学時間はどれくらいですか。）

通学時間について「30分～1時間未満」の割合（35.0%）が最も高く、次いで「15分～30分未満」（31.1%）が続いている。「15分未満」（22.6%）は減少傾向が続いている。



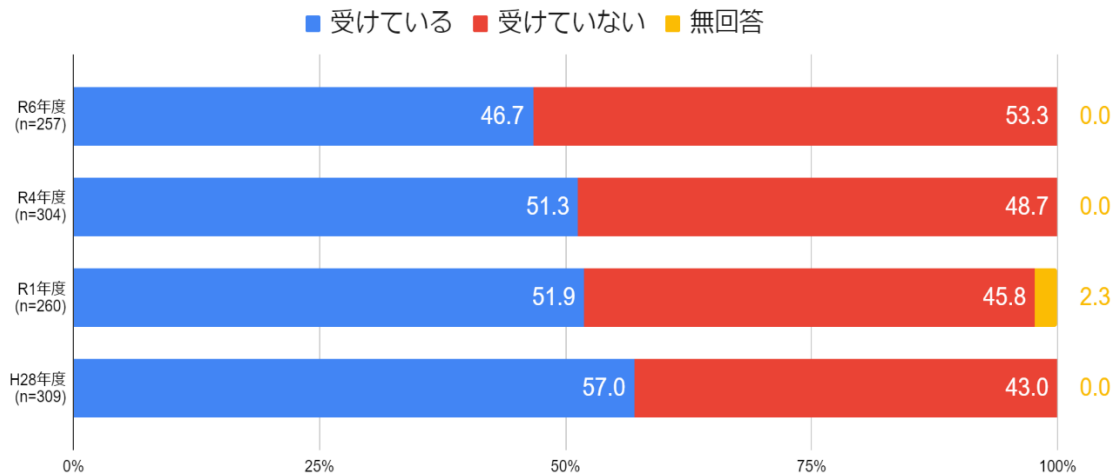
Q3 通学手段 （主たる通学手段は何ですか。（複数回答可））

通学手段について、「徒歩」が減少している。猛暑や豪雨が増えた影響と、自宅通学の増加が関係していると考えられる。「原付・自動二輪車」の減少も不安定な気候と関連していると推測される。



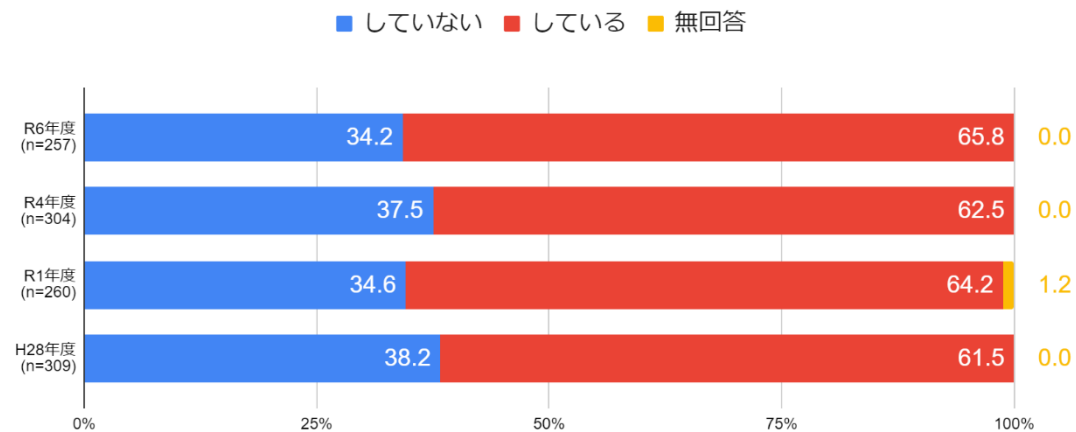
Q4 奨学金の受給状況 （現在、何らかの奨学金を受けていますか。）

奨学金の受給状況について、時系列にみると、「奨学金を受けている」割合の低下傾向が続いている。クロス集計でもアルバイトを「している」との関連性も見られなかった。



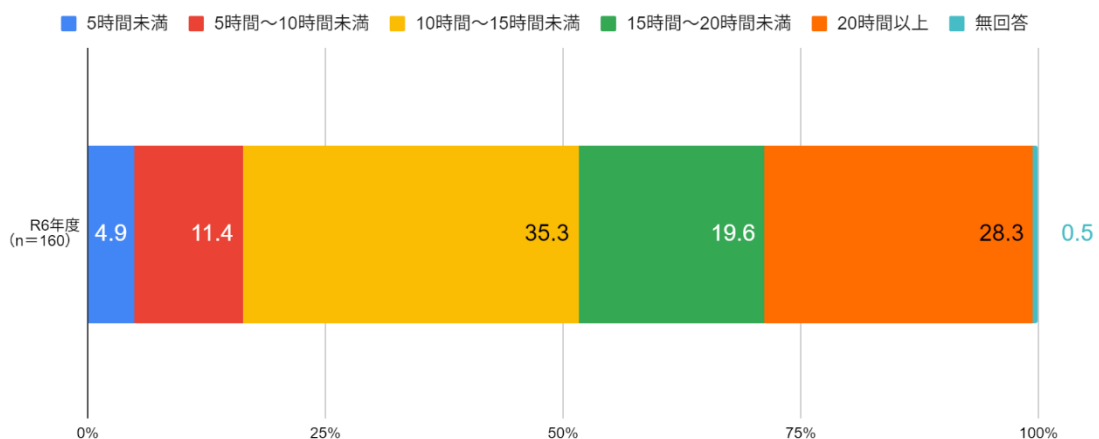
Q5 アルバイト状況（現在、アルバイトをしていますか。）

アルバイト状況について、アルバイトを「している」が 65.8%、「していない」が 34.2%になっている。過去 3 回の調査と比較すると、徐々にではあるがアルバイトを「している」の割合の上昇傾向が続いていると考えられる。



Q5 - 1 「アルバイトをしている」を選択した場合、1 週間の合計アルバイト時間を入力してください。

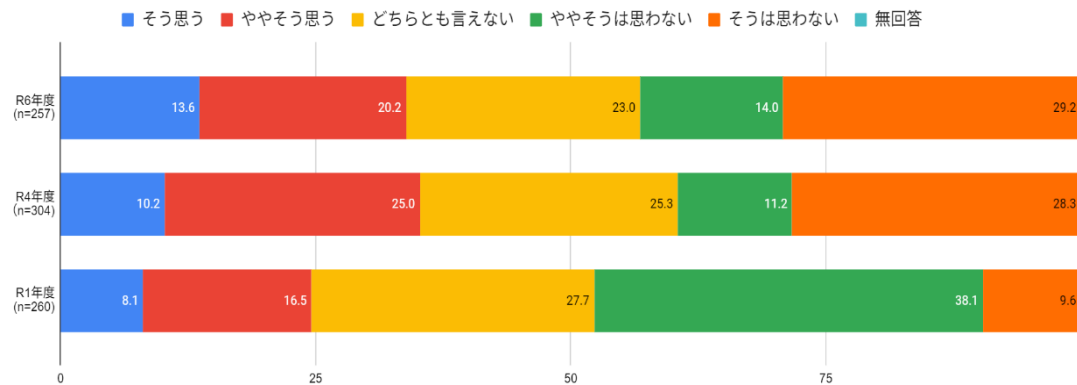
「10 時間～15 時間未満」が 35.3%と最も高くなっている。続いて「20 時間以上」が 28.3%となっており、経済的に厳しい状況の学生が一定数いることがわかる。最も長く働いている学生は 1 週間で 28 時間以上アルバイトに就いている。



Q6 アルバイトによる授業・課題への影響

(アルバイトが原因で、授業への出席や予習・復習、課題対応への時間確保が難しいと思いますか。)

「そう思う」の割合が8.1%→10.2%→**13.6%**増加傾向だが「ややそう思う」を足した割合は3割程度で前回の割合とは大きな差異はない。「そうは思わない」の割合も大きな差異は生じていない。



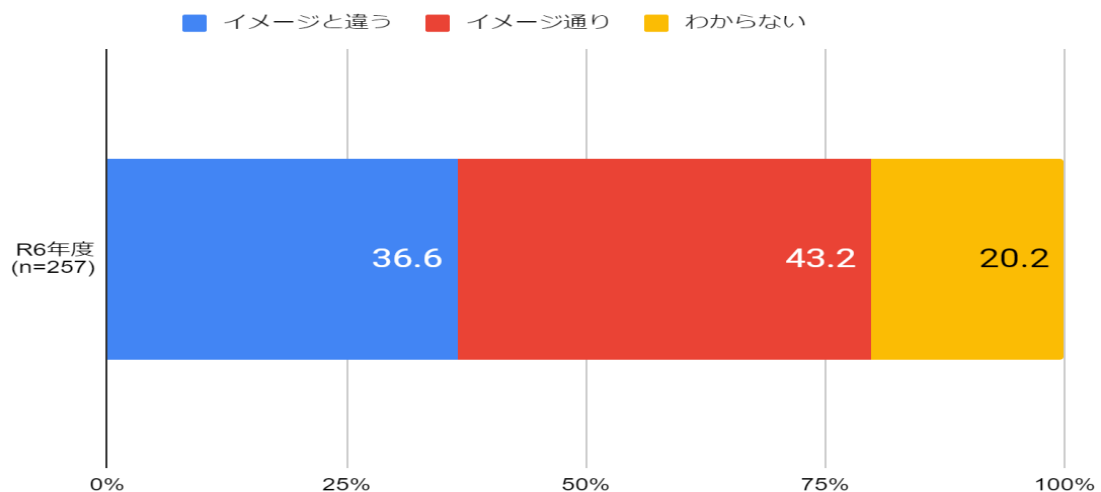
3-2 大学についてのイメージ

Q7 入学前と比べた、現在の大学のイメージ

(入学前の沖縄県立芸術大学のイメージにくらべ、現在の実状はいかがですか。)

「イメージと違う」36.6%。「イメージ通り」43.2%。となっている。

イメージと違うという理由も多岐に渡っている。



Q8 Q7について、そのように感じる場面（自由記述）

< プラスイメージ >

授業の充実度：一般教養の授業が充実している。
制作活動：制作に熱中し、充実した生活を送っている。
サポート体制：先生方のサポートが手厚く、親身になって指導してくれる。
学校の雰囲気：アットホームな雰囲気、他学年との交流が多い。
自由度：学習の自由度が高く、自分のタイミングで制作できる環境がある。
友人関係：学生同士の仲が良く、楽しい学校生活を送っている。
沖縄の環境：沖縄の自然を身近に感じながら制作できる。
一般教養の授業が充実している。

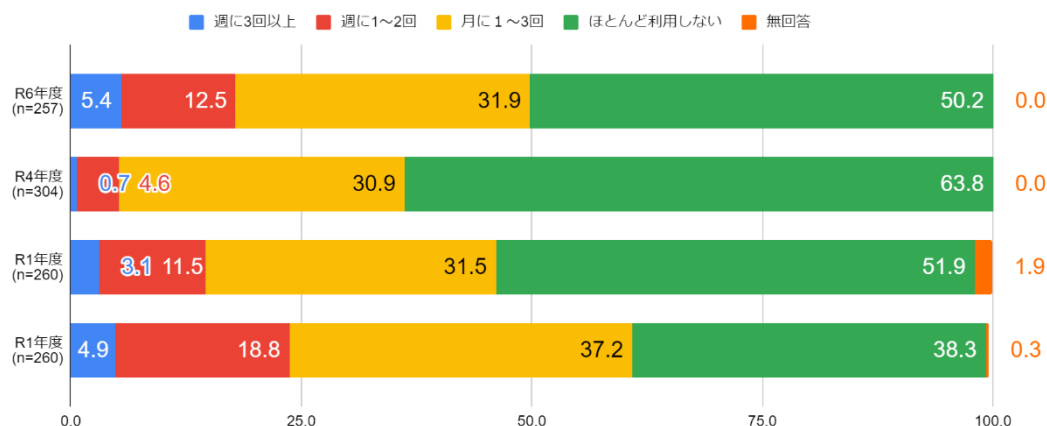
< マイナスイメージ >

忙しさ：思ったよりも忙しく、毎日通学しなければならない。
授業の拘束時間：授業の時間が長く、拘束時間が多いと感じる。
専門科目の不足：専門的な授業が思ったより少ないと感じる。
生徒同士の交流の少なさ：学部同士の交流が少なく、孤立感を感じることがある。
設備の不満：アトリエや練習室の広さや数に対する不満がある。
自由度の制限：自由に使える時間が少なく、思ったよりも自由がないと感じる。
不安感：漠然とした不安を抱えながら生活している。
授業の拘束時間：授業の時間が長く、拘束時間が多いと感じる。

3-3 大学の施設や教育体制、支援体制について

Q 9 図書館の利用状況（図書館の利用状況について教えてください。）

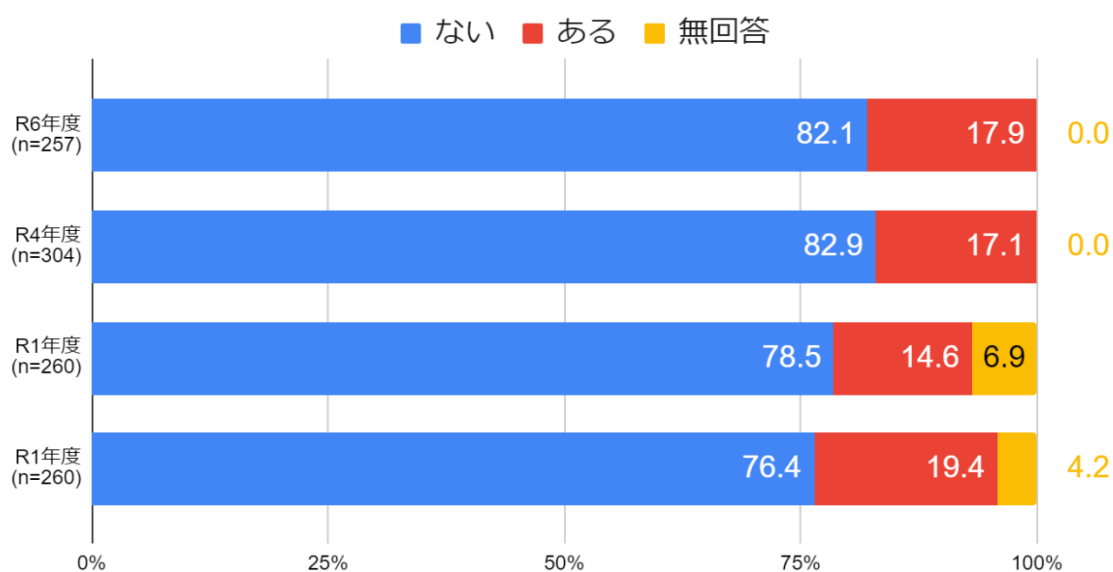
「週に3回以上」前回の0.7%→5.4%。「週に1～2回以上」4.6%→12.5%。と前々回以前の水準まで上昇。コロナ禍の影響があったと推測される。利用状況については、「ほとんど利用しない」（50.2%）の割合が最も高くなっている。



Q10 図書館の要望

（図書館の所蔵、設備、運用について、利用しやすくするために要望することはありますか。）

図書館の要望について、「ない」が82.1%で最も高く、「ある」が17.9%となっている。利用者の増加で要望が微増したと考えられる。



【要望】

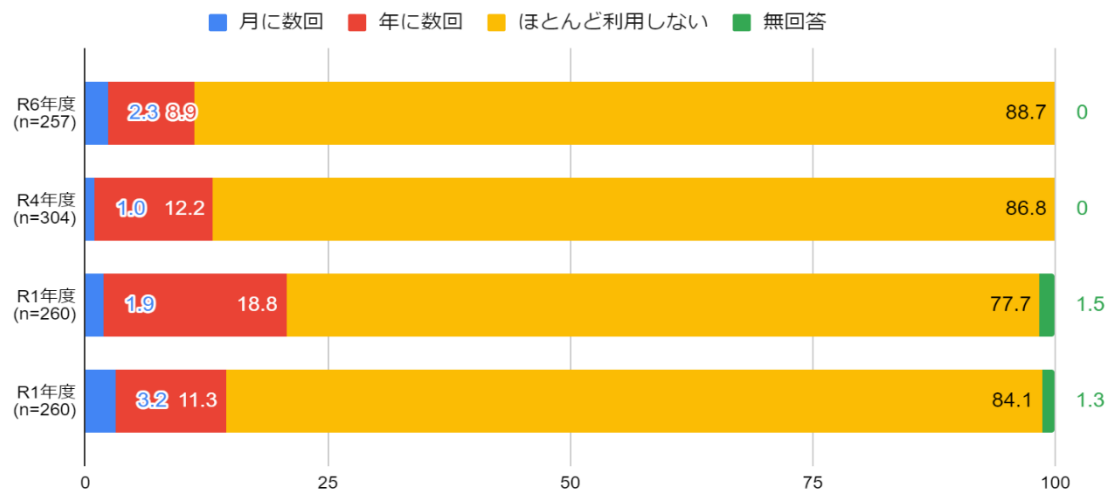
蔵書の充実（12 件）
Wi-Fi を使えるようにしてほしい（11 件）
利用のしやすさ（表示/手続き/ウェブサイト）（6 件）
開館時間の延長（5 件）
借りられる冊数を増やす。貸出期間を延ばす。（4 件）
崎山でも借りられるようにしてほしい（4 件）
設備に関すること（空調/コンセント）（2 件）
DVD を見られるようにしてほしい
新聞データベースが欲しい

Q11. 保健室の利用状況について教えてください。

（保健室で処置を受けたり、健康相談をしたことがありますか。）

保健室の利用状況について、「ほとんど利用しない」（88.7％）の割合が最も高く、「年に数回」（8.9％）、「月に数回」（2.3％）と続く。

過去 3 回の調査と比較しても、「ほとんど利用しない」の割合が高くなっている。

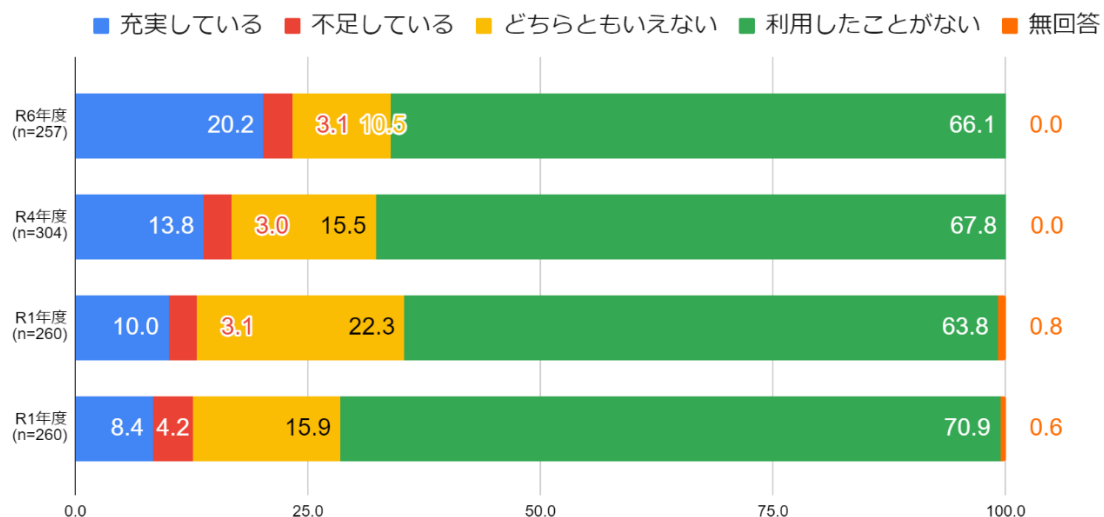


Q12 健康管理やカウンセリング体制

（健康管理やカウンセリング体制についてどう思いますか。）

健康管理やカウンセリング体制について、「利用したことがない」（66.1％）の割合が最も高く、「充実している」（20.2％）、「どちらとも言えない」（10.5％）、「不足している」（3.1％）と続く。

過去 2 回の調査と比較すると、「充実している」の割合が上昇している。

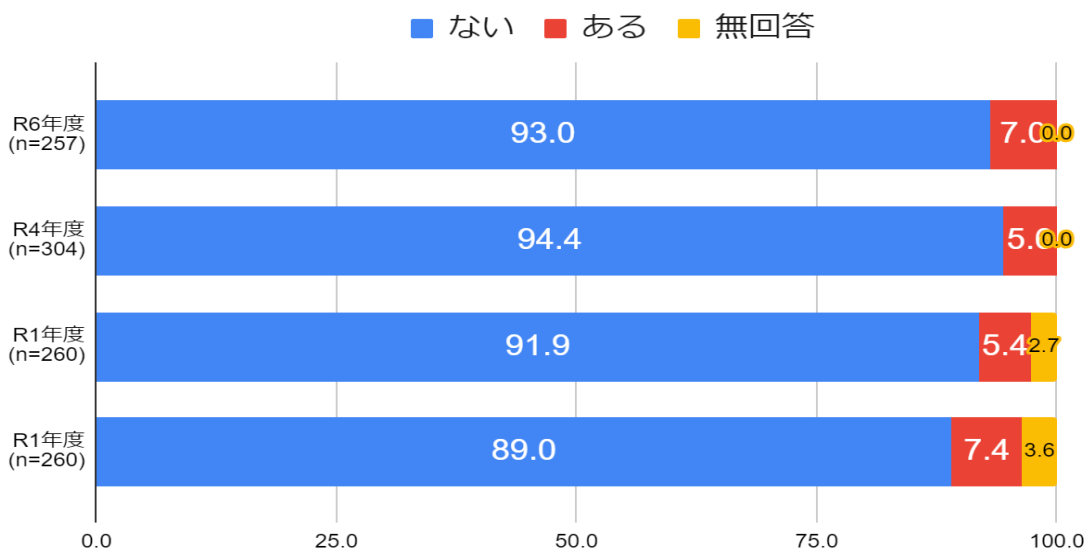


Q13 健康管理やカウンセリング設備の要望

（健康管理やカウンセリングルームの設備、運用について、利用しやすくするために要望することはありますか。）

保健室やカウンセリング設備の要望について、「ない」が 93.0％、「ある」が 7.0％となっている。

わずかながら、「ある」の割合が上昇した。（前回 5.0％）



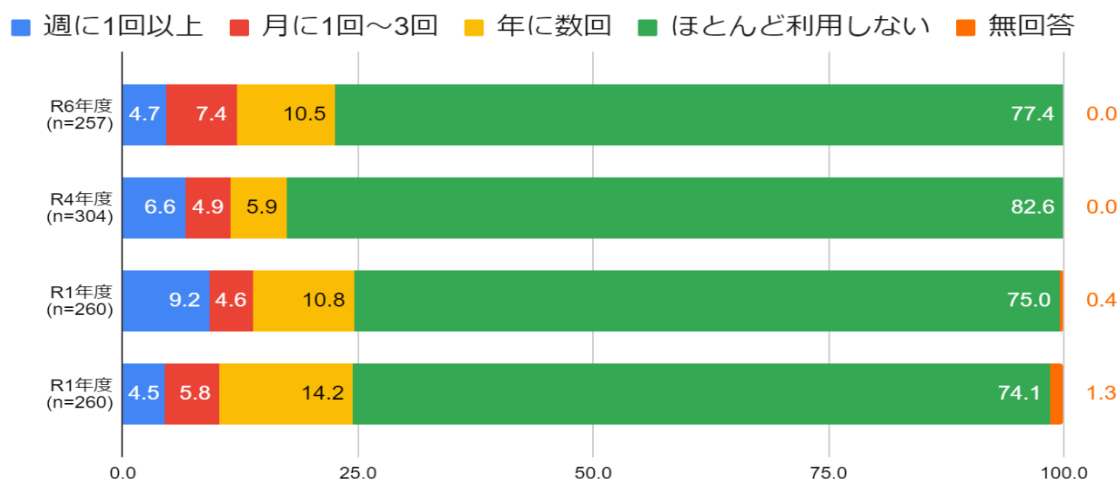
【自由記述】

利用したい時に空いていることが無いことがあるため、不便を感じることもある。
カウンセラーさんを複数名配置して欲しい。どうしても、相性はあると思うから。
保健室を利用したいときに限って空いてない
人員やカウンセリングルームを増やしてほしい。
カウンセラーが毎日滞在してくれると嬉しい。もっと気軽に利用できるようになると助かります
保健室の先生が常駐してくださるともっと使いやすいかもしれない。
当蔵の保健室に行こうにも、保健室の先生が崎山に行ってしまったいて、不在で閉まっていることが多く感じる。その場合、他の職員の方に声をかけて手続きをしてもらう必要があったため、難しいかもしれないが、なるべく解放してほしい。
もっと定期的にアンケートすべき
保健室の開いている日を確認するのが難しい。いつも開いていて欲しい。
授業外の時間が利用できると良いと思う(特にカウンセリング)
午後の授業を途中で抜けなければならない。
見えるところに案内を貼る
複数のカウンセラーから希望のカウンセラーを選べるようにしてほしい
もっと多い頻度でいて欲しい。
カウンセリングルームが授業時間しか空いていないので利用しにくい
開いてない日があるのが辛かったです。たまたま体調悪くて保健室を利用したい日が閉室日だったので。

Q14 体育館の利用状況

(体育館の利用状況(授業以外、個人やサークル等)について教えてください。)

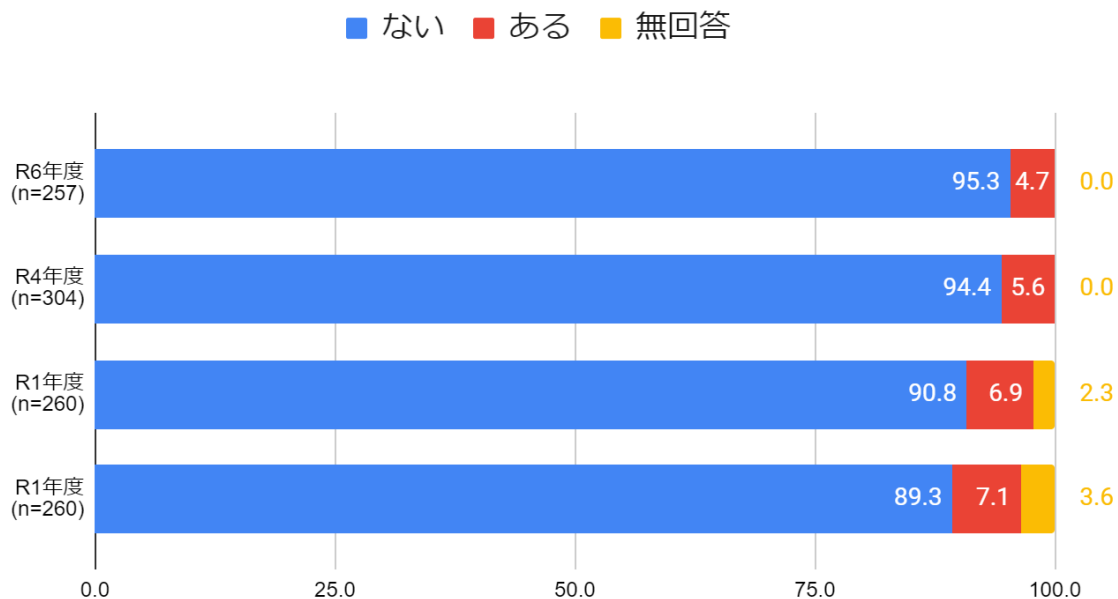
体育館の利用状況について、「ほとんど利用しない」(77.4%)の割合が最も高く、次いで「年に数回」(10.5%)、「月に1～3回」(7.4%)「週に1回以上」(4.7%)、となっている。こちらも、コロナ禍の影響で減少した利用者が前々回程度に回復したと考えられる。



Q15 体育館の要望

(体育館の設備、用具、運用について、利用しやすくするために要望することはありますか。)

体育館利用の要望については、「ない」は95.3%、「ある」は4.7%となっている。
過去3回の調査と比較すると、「ある」の割合は低下している

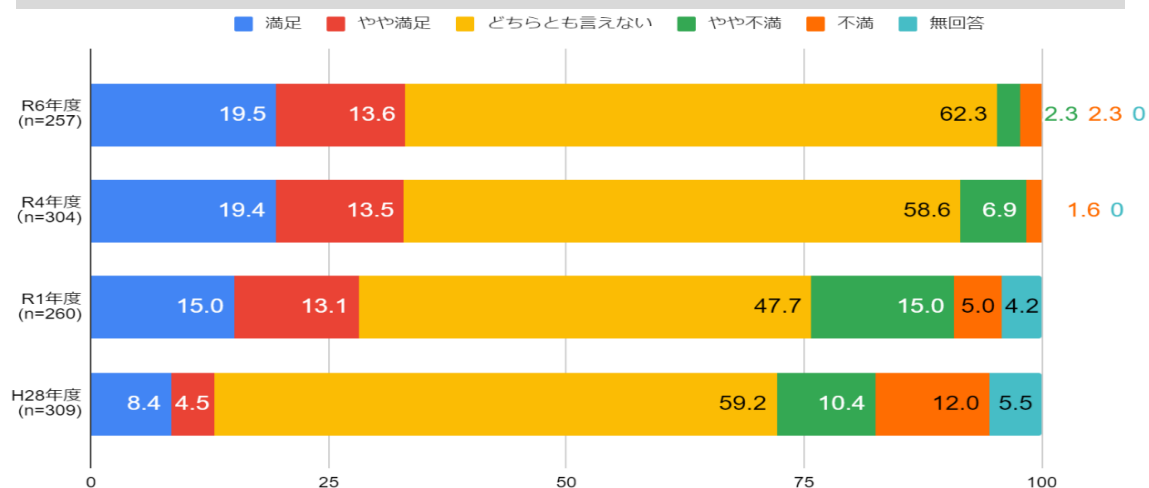


【要望】

使用法を知らない 2 件
雨漏りが多いので修理が必要 2 件
通気性が悪く高温多湿 3 件
器具が使いにくい 3 件
更衣室及びシャワールームがよりキレイであると良い 3 件
体育館の清掃道具自体が汚く、掃除しても綺麗にならない。
道具をサークル以外の人でも使えるようにして欲しい。公共の大学の資金で購入した物だろうし、共有するべきだと思う。
2 階に上がる時のハシゴが危ないので出来たら階段などにしてほしい

Q16 キャンパス間運行シャトルバスのダイヤやタクシー利用に対する満足度を教えてください。

シャトルバスの利用満足度について、「どちらとも言えない」（62.3％）の割合が最も高く、次いで「満足」（19.5％）、「やや満足」（13.6％）、「やや不満」と「不満」（2.3％）となっている。

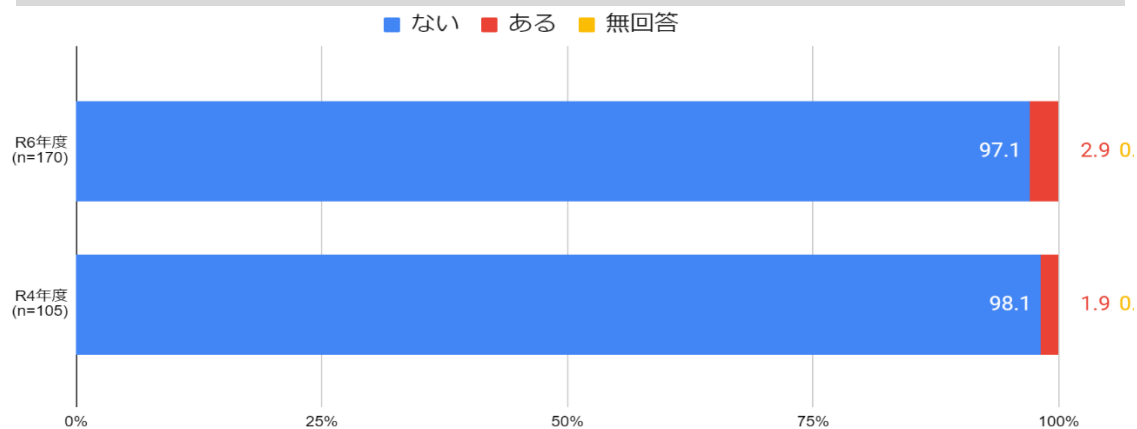


【要望】

乗れなくて 1 キロ以上歩いて帰らなくてはならない時がある。
バスは正午に 2 本しかないことは岐山キャンパスの学生にとっては不便だと思います。岐山より当蔵へ昼ごはんを食べたいけど、帰る時はバスを乗らなければなりません（4 件）
バスとタクシーの運行時間について。増便して欲しい（3 件）
首里駅の近くで降りれたらいいと思う（2 件）
シャトルバスの時間帯を増やしていただきたいと思った。
バスはもう少し遅い時間の運行本数を増やしてほしい。タクシーについての不満はない。
もう少し遅い時間帯もタクシーを呼んでほしい 19:00 くらいまで

Q17 【新入生対象】全体オリエンテーションについて、要望することはありますか。

「ない」が 97.1%、「ある」が 2.9%となっている。前回と大きな差異は認められなかった。

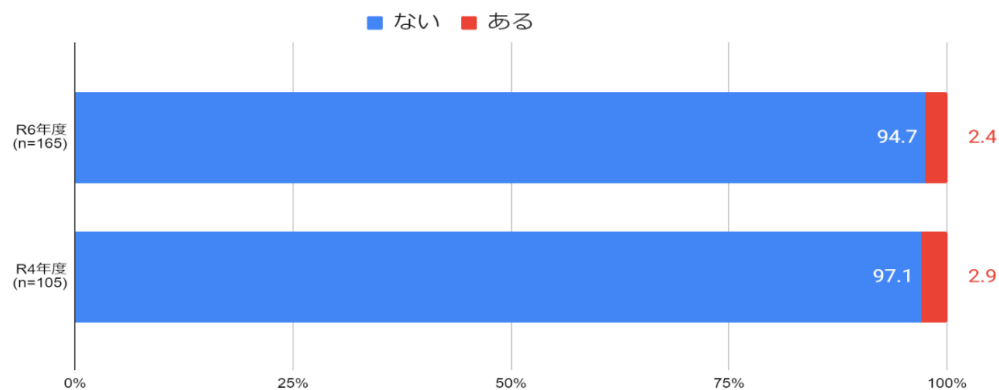


【要望】

新入生に教授と会う機会をもう少し手配できると思います。
参加人数、男女比をそろえて欲しいです。
琉球大学のヒューマンライツセンターの方を呼んで、ハラスメントについてのことなど組み込んで欲しい。
芸大ならではのイベントがあると良い。
大学のサークル紹介の時間を設けてもらえると嬉しい

Q18 【新入生対象】全学・資格課程オリエンテーションについて、要望することはありますか。

全学・資格課程オリエンテーションについて、「ない」が 94.7%、「ある」が 2.4%となっている。前回と比較しても大きな差異は認められなかった。



【要望】

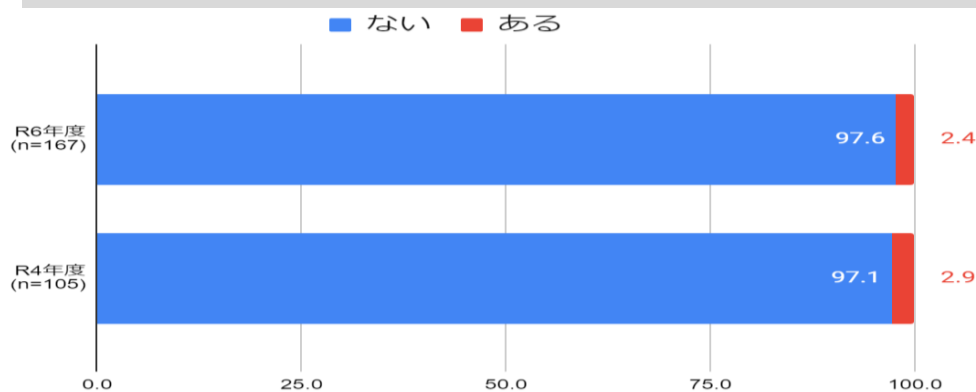
琉球大学のヒューマンライツセンターの方を呼んで、ハラスメントについてのことなど組み込んで欲しい。

教職課程。学校種の違いによって必要な科目とそうでない科目の違いについて説明してほしい。

オリエンテーションの日付ではなく時間を早く教えてほしい。

Q19 【新入生対象】全学履修相談について、要望することはありますか。

全学履修相談について、「ない」が 97.6%、「ある」が 2.4%となっている。前回と大きな差異は認められなかった。



【要望】

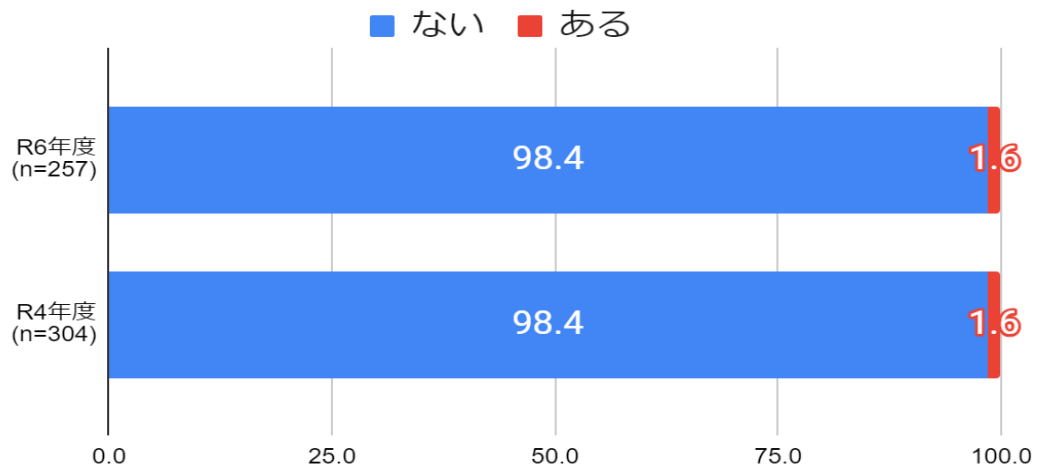
できれば、外国人留学生に対して詳細な解答と注意喚起を行います。

分かりづらい。人が多すぎて聞きたいことが聞けない

集中講義の履修相談ももっとして欲しいと思った。

Q20 各専攻別オリエンテーションについて、要望することはありますか。

各専攻別オリエンテーションについて、「ない」が98.4%、「ある」が1.6%と前回と同じ割合となった。



【要望】

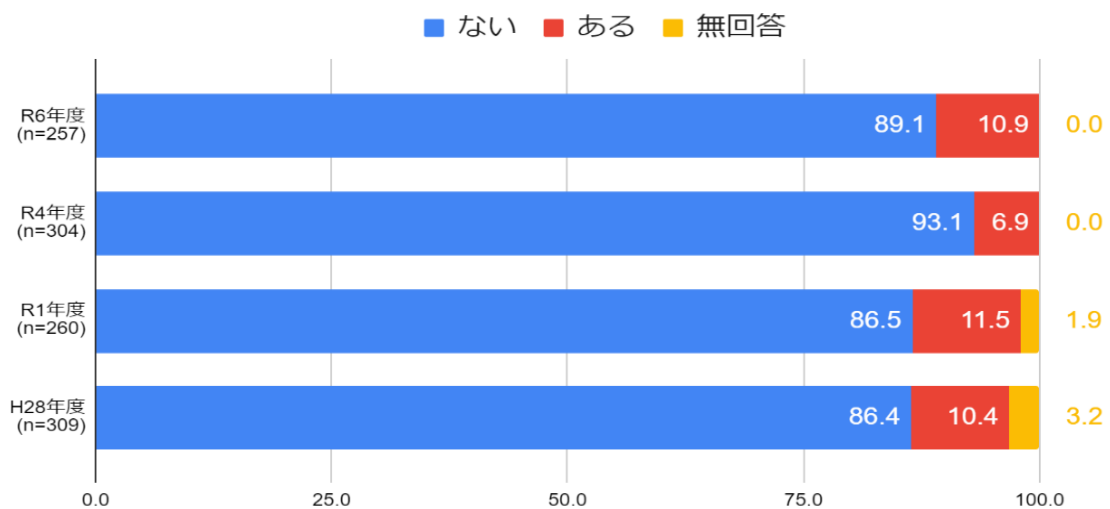
日程が出るのが遅いと感じていた。もっと早めに知らせて欲しい。(2件)

どの科目から何単位必要か等、単位の取り方を理解されていない方が結構いらっしゃるため、これに特化したガイダンスをされた方が良いと感じています。ご検討、よろしくお願いいたします。

たまに連絡先がわからない先生が居るので、レジュメに最新のものを書いておいて欲しいです

Q21 シラバスについて、要望することはありますか。

全学教育科目について、「ない」が89.1%、「ある」が10.9%となっている。

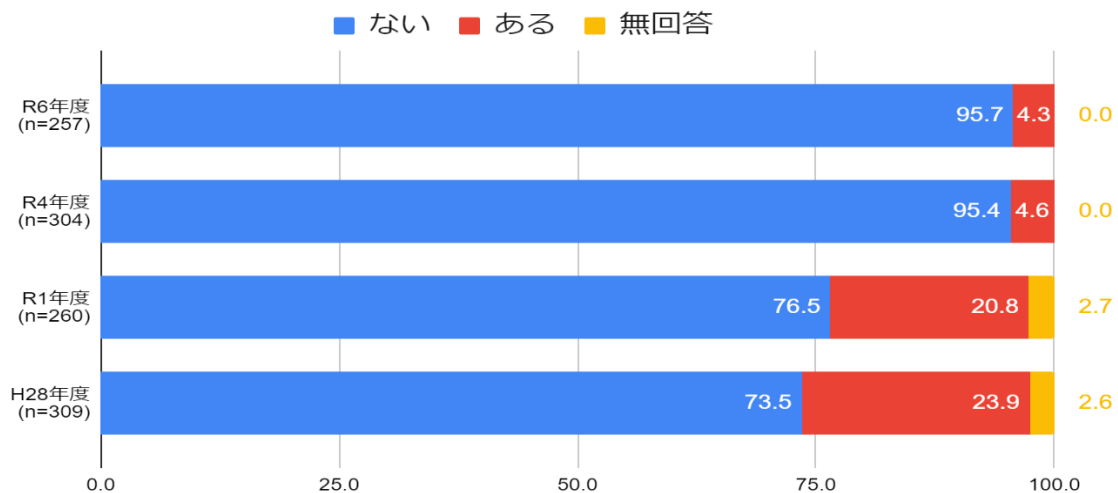


【要望】

シラバスと実際の内容が異なることがあるため改善して欲しい。(5 件)
ユニパで検索しにくい。見づらい。各分野に紙のシラバスがほしい。(10 件)
教室名を表示して欲しい 3 件
担当教員が変更した際に表示して欲しい(2 件)
卒業単位が芸術大学にしては多い
必要単位のわかりやすい説明が欲しい
修士・博士のシラバスの評価基準と範囲の厳密性

Q 22. 学内のパソコン設備について、要望することはありますか。

「ない」の割合が 95.7%。「ある」の割合が 4.3%となっている。前回と大きな差異はない。

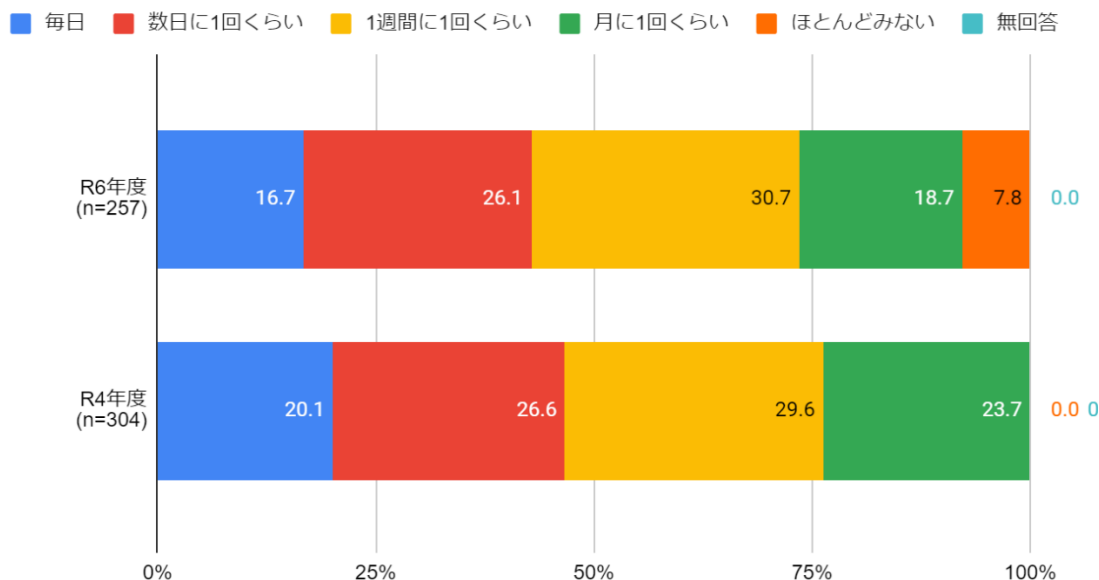


【要望】

専門ソフト（Photoshop、楽譜制作ソフト）を入れてほしい（4 件）
パソコン設備があることを知らない。
パソコンの動作性の改善（遅い）2 件
授業以外でも、申請など手続きをすれば使えるというようになるといい。
授業のない時間帯等で使っている日がわからない。大学内の人かわからない人がたまに利用している。

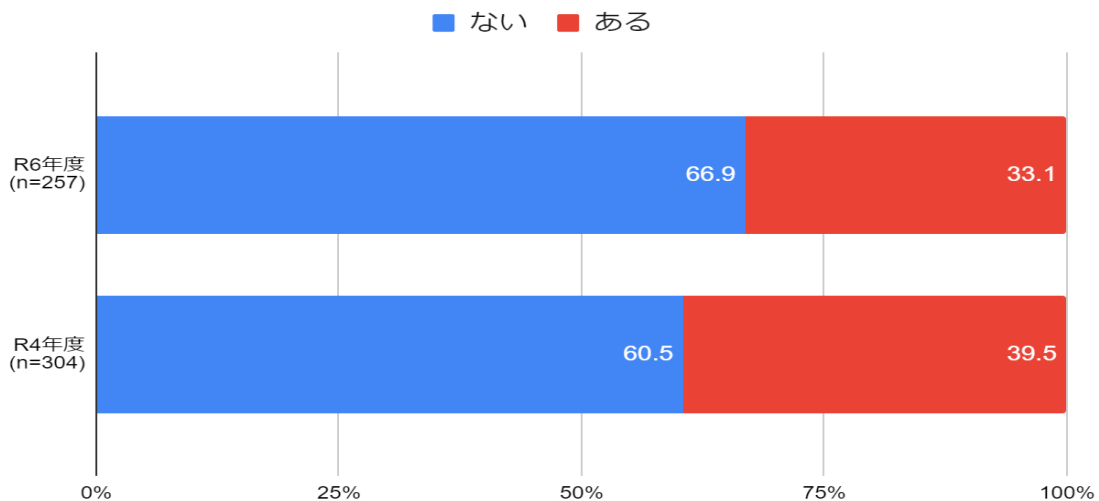
Q23 UNIPA（UNIVERSAL PASSPORT）の閲覧頻度を教えてください。

UNIPAの仕様頻度について。「1週間に1回くらい」の割合が30.7%と最も高くなっている。一方、前回と比較して「毎日」の割合が20.1%→16.7%と減少。「ほとんどみない」の割合が0%→7.8%に増加している。



Q24 UNIPAの運用について、要望することはありますか。

前回の調査と比較すると、「ない」の割合は上昇し、「ある」（33.1%）の割合は、前回（39.5%）より減少している。

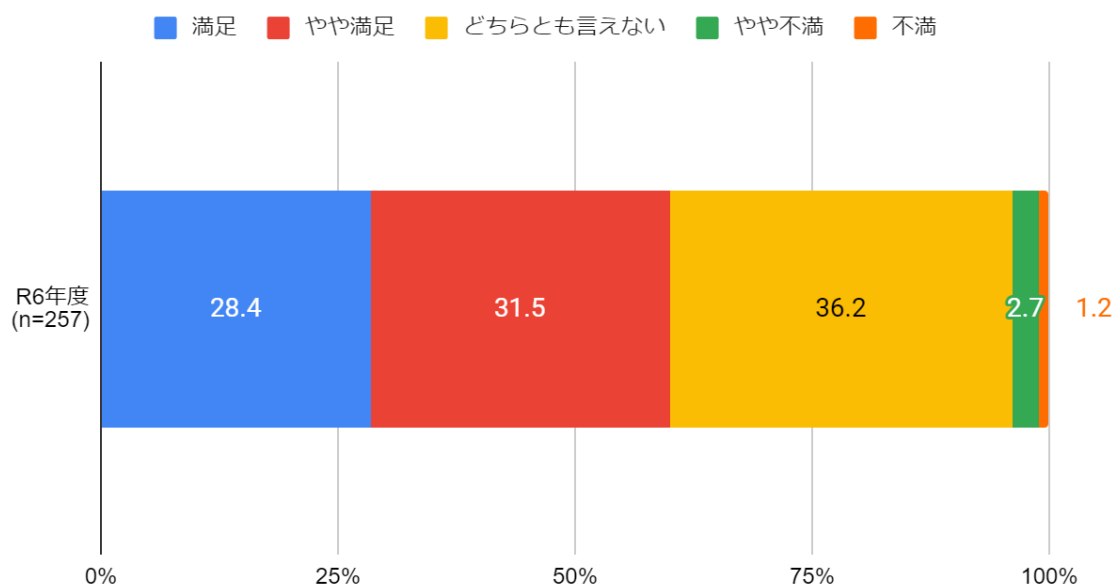


【要望】

スマホ操作が不便。ログインが不便。アプリにして欲しい。(45 件)
スマホに通知が出るようにして欲しい (15 件)
重要情報は mail にして欲しい (5 件)
スマホ版のユニバの履修登録を使いやすくして欲しい
安定した運用をお願い致します
スマートフォン版でも取得しなければいけない単位数を見られるようにしてほしい
展覧会などの情報が多すぎて日常的な連絡が埋もれるので、印などをつけて分かりやすく分けてほしい (2 件)
添付資料を毎回ダウンロードしないといけないことが少し大変
重要なことは掲載期間を設けないでほしい。
履修登録できない、シラバスがない、など教科をなくして欲しい
卒業できる単位を得るための選必 AB 科目の説明不足です

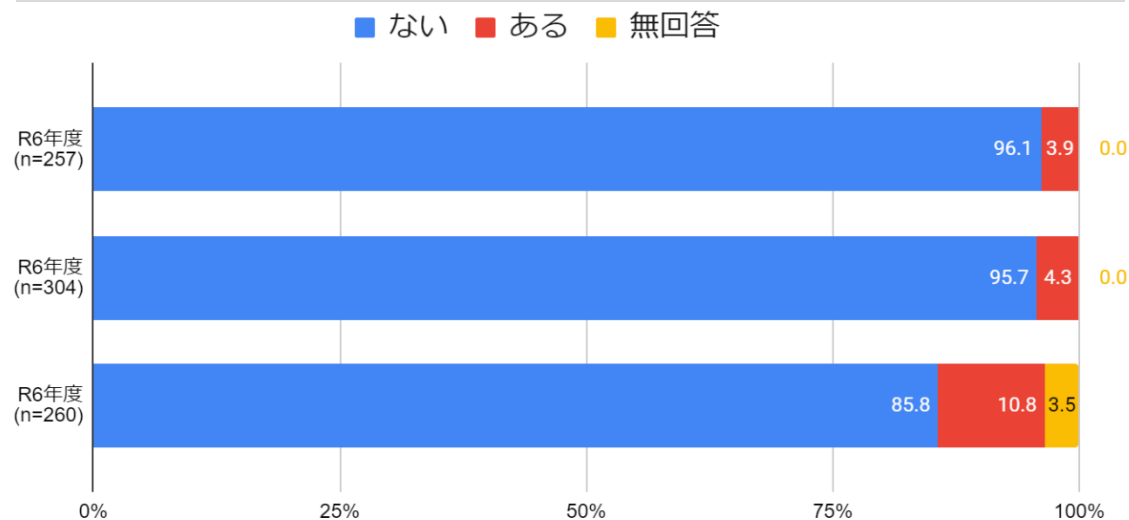
Q25 初年次セミナーに対する満足度を教えてください。

初年次セミナーについて。「どちらとも言えない」(36.2%)の割合が最も高くなっている。「満足」(28.4%)、「やや満足」(31.5%)、「やや不満」(2.7%)、「不満」(1.2%)となっている。グループ学習の難しさや課題を感じる結果となっている。



Q26 初年次セミナーについて、要望することはありますか。

初年次セミナーの要望について、「ない」が96.1%、「ある」が3.9%となっている。
前回と大きな差異は認められなかった。

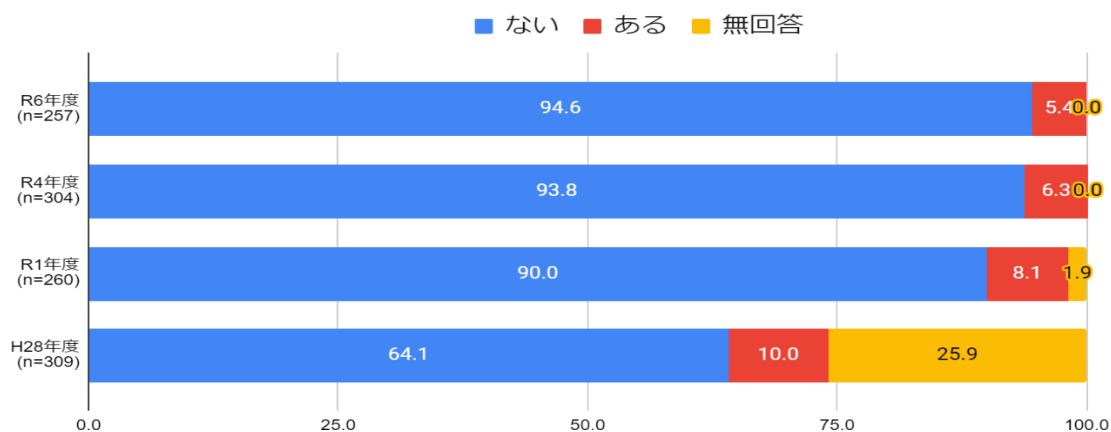


【要望】

社会のルールを教えて欲しい
学部専攻関係なく、もっと深く関われる内容のものがあったら良かったと思う。
単位として数えるほど必要な授業か私はわからない。新入生オリエンテーションとして数回行う程度で十分ではないのか。
出席確認が来なくても答えられるものもあってもややした
21 の要望に書きました。修士・博士のシラバスの評価基準と範囲の厳密性を求めます。
後半らへんにあった先輩にまなぶみたいな講義が、ただのトークショーみたいになっていたので、もう少し就職などについての深い話を聞きたかった。
意味がある授業だと思えなかった
単位を増やしてほしい。
実社会で活躍している先輩方の講義がとてもおもしろかったので続けてほしいです。

Q27 リテラシー科目（日本語、情報、外国語）について、要望することはありますか。

リテラシー科目の要望について、「ない」の割合が 94.6%、「ある」の割合が 5.4%となっている。
過去 3 回の調査と比較しても、「ない」の割合は最も低くなっている。

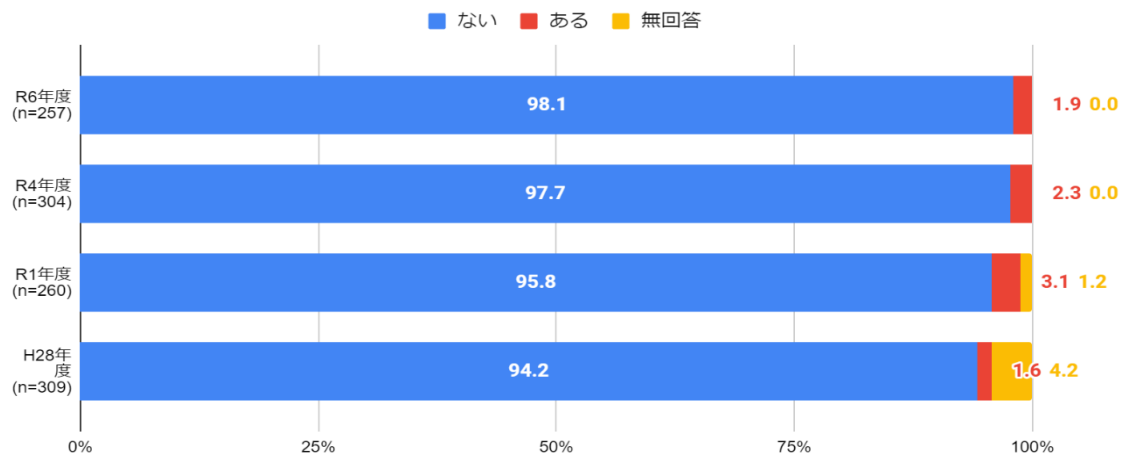


【要望】

ネイティブな講師を求める
学べる言語を増やして欲しい（4 件）
授業量・難易度の違いに疑問（2 件）
教職課程の科目と時間割が重ねるのはやめてほしい
英語二科目はつらい（3 件）
私は日本語の口語があまり上手ではありません。日本語コースの助けが欲しいです。
英語の必修は必要ないと感じる。学びたいことを学びに来ているので選択させてほしい
外国語の授業で先生が連絡なしに休んだり連絡がおそいことがあった。
院以生も必要に応じて履修できる様にして欲しい。別途院生向けの語学の授業を開設して欲しい。

Q28 健康・運動科目について、要望することはありますか。

健康・運動科目の要望について「ある」の割合が 1.9%と過去 3 回と比較し最も低い割合になっている。



【要望】

抽選がとりやすくなればよいと思う。

私はあまり運動しないので、体調が悪いので、運動科目はちょっと必要だと思います。

2 単位以上も単位に含まれるようにして欲しい。

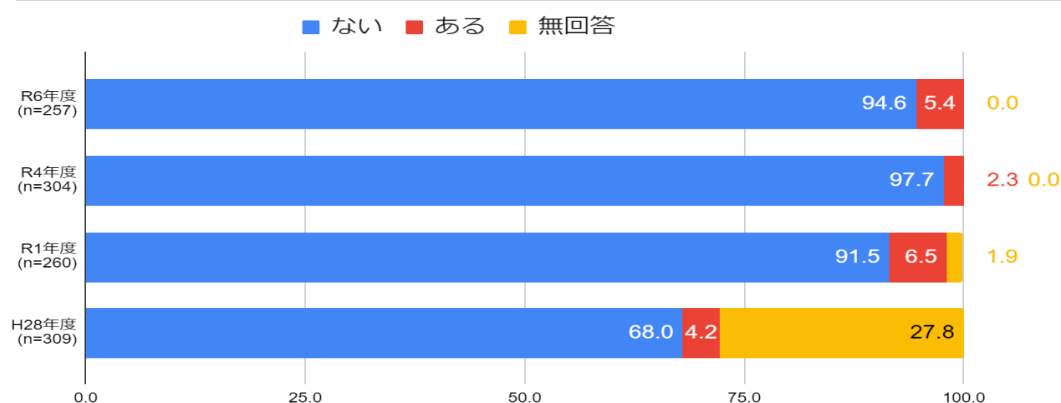
空手、棒術がやりたかった

競技をもっと増やしてほしい

Q29 その他全学教育科目（一般教養科目、芸術教養科目、沖縄の文化に関する科目）について、要望することはありますか。

「ない」の割合が前回の 97.7%→94.6%。「ある」が 2.3%→5.4%と増加。

前回、前々回との大きな差異は認められなかった。

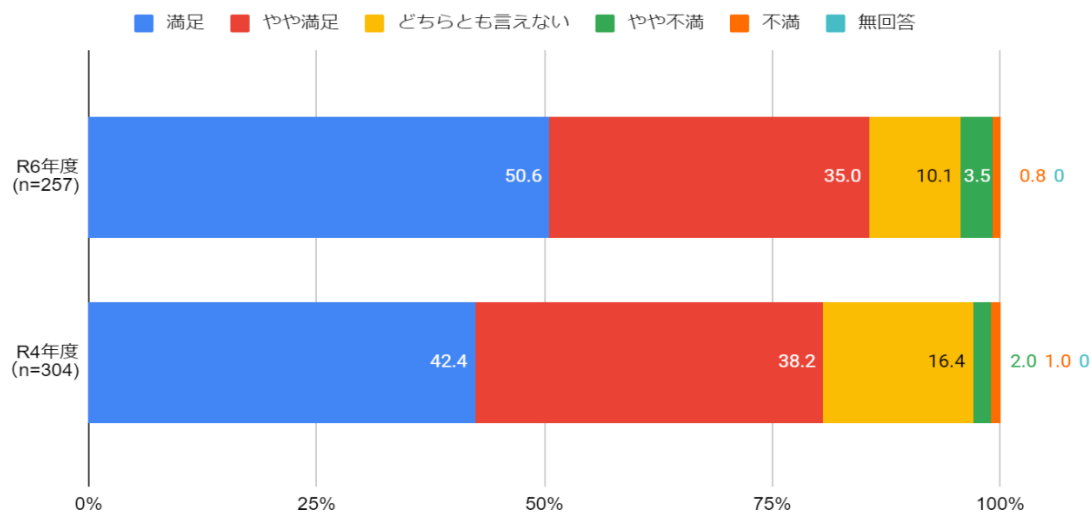


【要望】

アートマネジメントなどの科目をもう少し充実して欲しい。
芸術とキャリアデザインは必修科目にしても良いくらいとてもためになる授業です。私は4年次で受講しましたが、卒業後の進路を現実的に考えるきっかけになりましたし、もっと早く受けておけばよかったと後悔しました。2年次もしくは3年次の必修にすることで、もっと卒業後の進路を考えるきっかけになると思います。
時間通りに講義を終えて欲しいです
ジェンダーについて特化した講義も欲しい。（学外の先生で）
フェミニズムやジェンダーに関する授業を新設してほしい
他の就職にも使える科目を増やして欲しい。経済系など
経済や経営に関する基礎的な知識を養える科目を受講したい。
普段は芸大以外で教えている先生もいると思いますが、芸大だからと言って難易度を落とさないでほしい。確かに専門教科ではないですが、学びを求めに大学に来ているので、熱量が低い先生を見ると残念です。講義形式でもいいですが、全体的にディスカッションの時間を増やしてほしい。
もう少し噛み砕いて説明してくれると助かります。
アートマーケット関連の授業がほしい。
美術史の授業を増やして欲しい
お金や経済に関する科目を増やして欲しい。行動経済学、投資、経営方法、など
どの科目を履修しても沖縄の文化について触れるので、沖縄の文化に関する科目を必修にする必要があるのかと感じる。
一般科目でもっと新しい知識を知りたい。
必要単位が多い

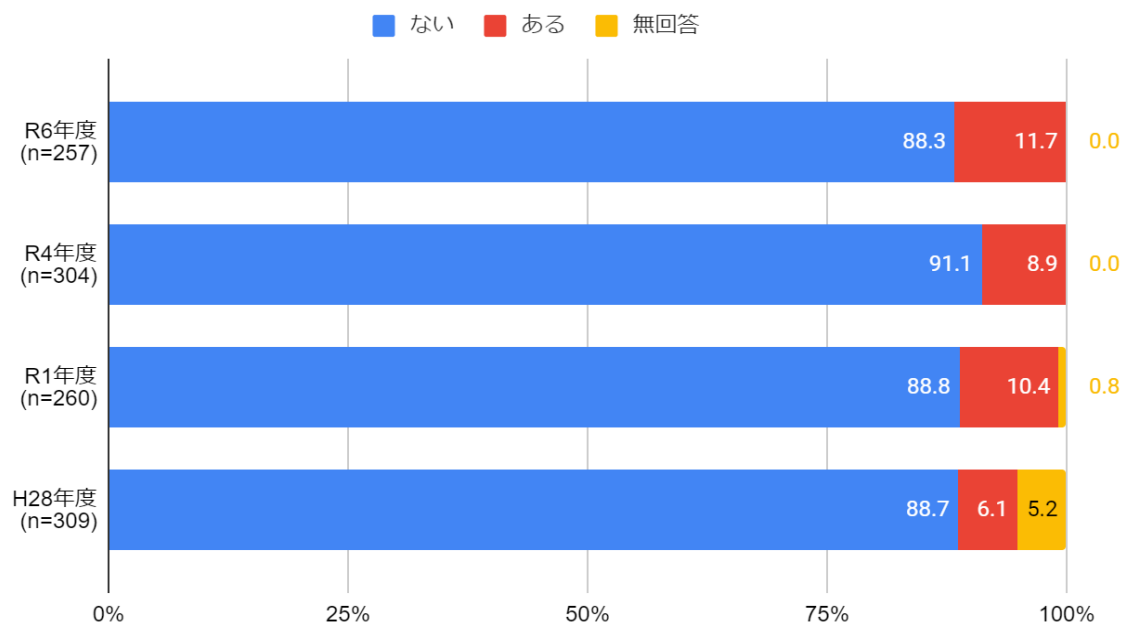
Q30 学生今年度自分が所属する学部（専攻）のカリキュラムや教育に対する満足度を教えてください。

「満足」「やや満足」を足して 85.6%の割合になっている。特に「満足」の割合は 8 ポイント上昇し、それにもない「どちらとも言えない」は減少したが、「やや不満」の割合が微増している。



Q31 今年度自分が所属する学部（専攻）のカリキュラムや教育について、要望することはありませんか。

「ある」の割合が過去 3 回と比較し最も高く、「ない」が最も低くなっている。要望が多岐に渡っているので、後述する。



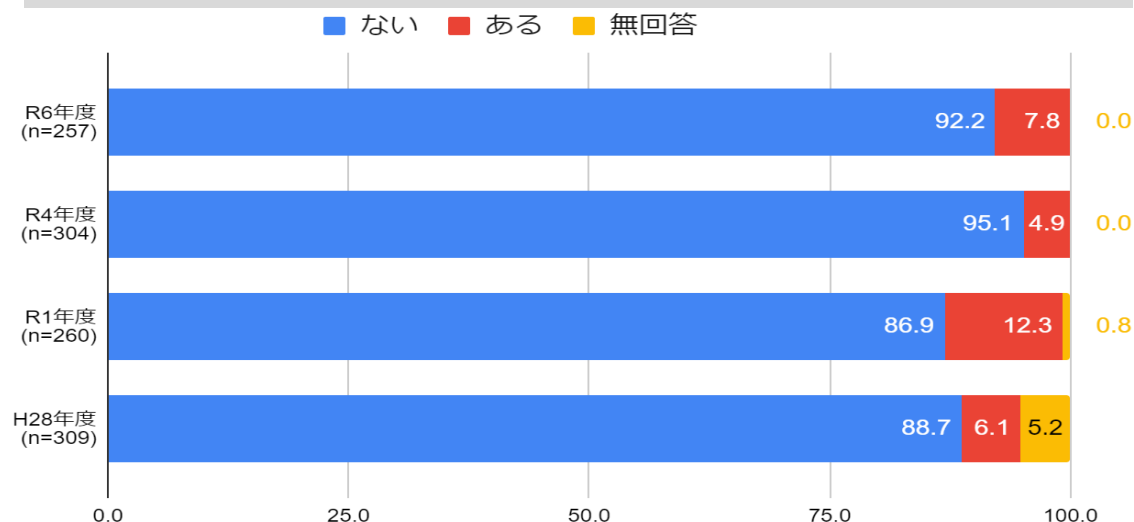
【要望】

施設・設備について
アトリエが狭くて制作が大変
教室が狭い
絵画専攻日本画 1 年の教室がかなり狭くて困っている。12 人もいるため、1 人分のわずかなスペースに画材や作品を置くと身動きが取れないほど狭い。後ろで制作している生徒と背中がぶつかりそうになるほどで、集中できない。作品をその都度離れて確認したくともそれができるスペースがないため、ストレスが溜まる。入学前のオープンキャンパスでは、「日本画は生徒数が少ないため広い教室で制作できる」と伺っていたのに、イメージと違い悲しい。同じ 1 年生である油画教室はこちらより生徒の人数が少ないにも関わらず、1 人のスペースに大きな余裕がある。制作物のサイズに差があるとはいえ、同じような学費を支払っているのにここまでの差があるとかかなり不満に思っている。来年度は改善して欲しい。また、講義の日程連絡が遅く、必修と書いてあるものを集中講義と被らせてしまった。大切なものならもう少し連絡を早くして欲しい。
練習室を増やして欲しい。
設備が少なく、他の学生の作業の待ち時間が多い。 課題に確保されている時間に余裕がありすぎる場合がある。人によって進めるスピードが異なるので、課題を増やしたり時間を減らしたりしなくて良いが、早く終わった人がさらに取り組めるメニューがあると良い
授業で使えて自習室まで移動させられるパソコンを増やして欲しい(デスクトップ)
博士については、消耗品費の拡充及び残った場合の納付先（現在は博士課程学科室。改善の要望としては、残った場合は所属の専攻への寄贈）の再考を願います。 漆芸分野としては、木工室への集塵機の設置を願います。学生の健康を大きく害していますし、エアコンにも大きな影響があります（故障が頻繁）。あれだけ頻繁にエアコンの修理に業者を呼ぶようでしたら、マキタの掃除機型大型集塵機(5～10 万円)を備え付けたほうが経済的です。学生の健康を害し、修理費用が投じられている現状はとても馬鹿馬鹿しいので、改善を願います。
カリキュラムについて
講義内容をもう少し充実させたものにして欲しいです。アニメや映像など、講義によっては時間がかかってしまう制作に取り組み、どうしても自主的な制作時間が長くなってしまうと思いますが、その自主的に取り組める制作より授業でしか得られない専門性やデザインの視点などを学びたいです。
ひとつの分野だけ多くの集中講義があり、さまざまな講義を受けている印象なので統一してほしい。
油彩以外のものはたくさん教えていただけるが油彩について学ぶ機会が少ないと感じる。絵画の基本ももう一度学びたかった。
その時その時やっているカリキュラム以降のカリキュラムのスケジュール（日程とか）がどうなっているのかハッキリ知りたい。自分のスケジュールも立てやすくするために。
同じ工房を使用しなければならない授業が重なっているのでカリキュラムが調節可能ならばして欲しい
ジェンダーについての専門の先生も欲しい。

評価について
学生の作品の評価に対してもっと真剣になった方が良い。
講評を始める時間が遅いと思います。
ハラスメントなどがあるかもしれないが、講評の際に褒めるだけでなく、改善点なども提示して欲しい。そちらの方がスキルアップしやすい。
特に専門実技を担当する先生方（そうでない先生もいますが）へ、実技試験の点数の付け方に関してですが、自分の好きな学生（理由はそれだけかもしれないですが）に点数を高くつける、感情混じりの点数をつけないでいただきたいです。私は学部の時優秀な成績をつけていただいていたが、院になってからなぜか先生方に嫌われているのか（そう感じる）、学部の時より良い演奏をしたとしてもその時よりかなり低い点数になっています。
明らかに音程が外れていたり、基本的な技術が足りない他の学生の方が、私よりも点数が高い、または同等、あまり変わらないなど、には驚きました。奨学金返還免除申請などにも影響がでますし、いくら頑張っても適当な扱いを受けられないなら、大学にいる意味も分からなくなってしまいます。大きな精神的なストレスも受けました。申し訳ないですが、正直に言うと、これから入学する学生さんのことも心配になりますし、このような思いをされると、沖縄県立芸術大学をおすすめできません。
先生方の気分で点数が付けられるのであれば、そのようなことが無いよう、他の学科の先生方に公平な審査をして頂くなど対策をとって欲しいです。
スケジュールについて
もう少し時間に余裕が欲しいです。
作品提出の締め切りを授業開始後にしてほしい
もう少し時間に余裕のあるカリキュラムを組んで欲しい
成人式や同窓会の時期に演奏会をしないでください。もう振袖も予約しています。
毎日4時間ほどあるのに対して単位数が少ない
その他
卒業制作期間は先輩方の制作に先生方が携わるので、1、2年生は放任になる場面が少しあるように感じた。また、個人的な意見ですが、教室だとどうしても人目が気になり、過度に緊張してしまい課題を進めるスピードが遅くなってしまう。私は自宅が1番集中できる環境だと感じている。自宅での課題制作を許容してもらえると、リラックスして全力で課題に取り組める。もちろん、意見を聞きたい時や相談したい時、学校の設備を使用しないといけな場合は学校へ行きます。個人が1番集中できる環境で作業をしたいです。
パネルの取引の禁止などの禁止事項は、急に禁止するのではなか、あらかじめ告知するべきである。そうすれば、ある程度先輩からのパネル受け渡しの提案にも取捨選択できたはずである。
急に今日から禁止しますと言われて、処理等は自己責任と言われても混乱してしまう。
教授からより多くの指導と意見をもらいたい。
ある授業で先生が急ぐことなく授業に遅れて来られ、意識の低さが残念でした。

Q32 教職課程科目について、要望することはありますか。

教職課程科目についての要望は、「ない」(92.2%)は前回より下がり、「ある」(7.8%)は前回より上昇した。要望も多岐に渡るため後述する。



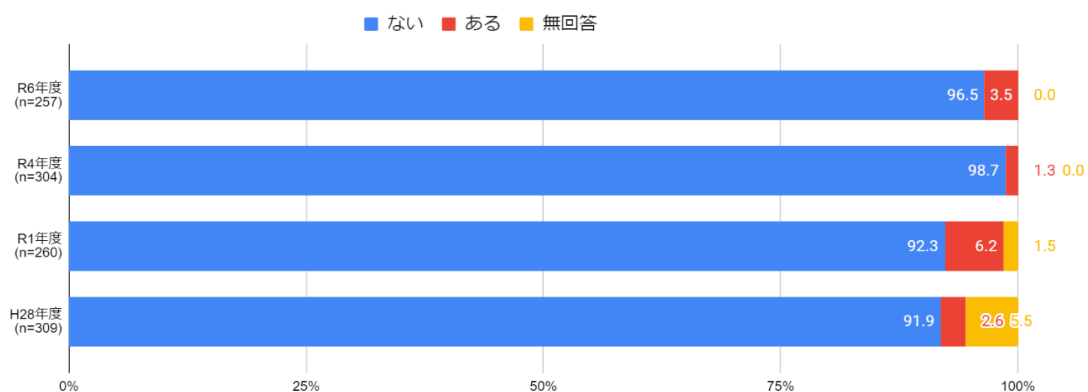
【要望】

スケジュールについて
教職実践演習の授業時間を変えてほしい。
(現状金1だが、ほとんどの学生が教育実習を終えている&4年であるのに1限なのはやめてほしい。曜日に関しても何かと土日に関連して予定を入れたのに調整しづらい面がある)
また、教育実践演習の授業内容に模擬授業とあるが、教育実習を終えた中にある学生にとってあまり、意味がないように感じる&指導案の準備が負担なので考えてほしい。模擬授業をやるのであれば教員採用試験前とかにしてほしい。
6限などかぶりないところにするというのもありではないか
一限が多いものの、二限に取れる授業がなく空いてしまうので曜日をまとめてほしい
博物館学過程の授業と被せないで欲しいです。
取らないといけないものが同じ日にちの同じ時間に被っているとどちらかしか取れず遅れが出てしまう
カリキュラムについて
正直授業が面白くない。あまり興味関心を引きつける内容ではないと思うので改善して欲しい。
教職と学芸員の免許を両立して取ることに對しての支援が充実していない。
課題が多い・期限が早い。(4件)
教員採用試験の情報提供や、対策をもっと強化してほしい。
授業内容が充実していない事がある。何を教えたいのかわからない時がある。
教科書を買わせたのならもっと授業内で有効的に使って。
グループ学習時の授業に参加しない学生の分を真面目な学生が補っているが、同じ評価を得て資格を取得している点が不満である。もっと厳しくすべき

グループワークをする講義が多いが、出席率が低く一部の学生に負担がかかる場合が多々あった。グループの分け方や出席・遅刻に関する減点の割合を再考してほしい
情報提供/運営面
もっと教育実習までの手続きを、説明会一回で全て説明するのではなく。 色んな教職授業で、書類手続きなどの告知をするべき。
実際の教職現場についての話や、教員採用試験の内容についてなど、教員になる為に必要な情報をもっと流してほしい。
教職課程科目は特に課題が多く、ユニパ や teams Google クラスルーム など様々な 媒体で課題を提出しなければいけないのが不便である。課題を閲覧 提出するための媒体を統一してほしい。

Q33 博物館学科課程について、要望することはありますか。

博物館学過程について、要望が「ない」(95.5%)が 2 ポイント近く減少し、それにともない「ある」(3.5%)が上昇した。



【自由記述】

履修登録の際、必要科目や必修科目に色をつけるなどしていただけると見落としや迷いがなくてたすかる。
後期博士課程でも博物館資格を取得できるようにしたほうが良いと存じます。
必ず参加しなければならない説明会などはもっと早く知らせしてほしい。実習事前、事後指導には土日どちらも使わなくていい内容だったので 1 日に納めてほしい。
6 限やオンラインで被らず取れるようにしてほしい
教育課程の授業と被せないで欲しい 必修の授業どうしが同じ日程だとどちらかに遅れが出てしまう
レポートの文字数を減らしてほしいです。博物館学科課程に必修の科目をとるために、合計何万字のもののレポートを書くことがありました。先生が確認するのも大変だと思うので、ぜひ、少しでも減らしていただければうれしいです。
先生が同じだからか、違う授業でも同じように感じてしまう。

Q34 昼食はどのような手段で摂っていますか。週に何回かで回答してください。
 (複数回答可。合計で週に5回になるようにしてください)

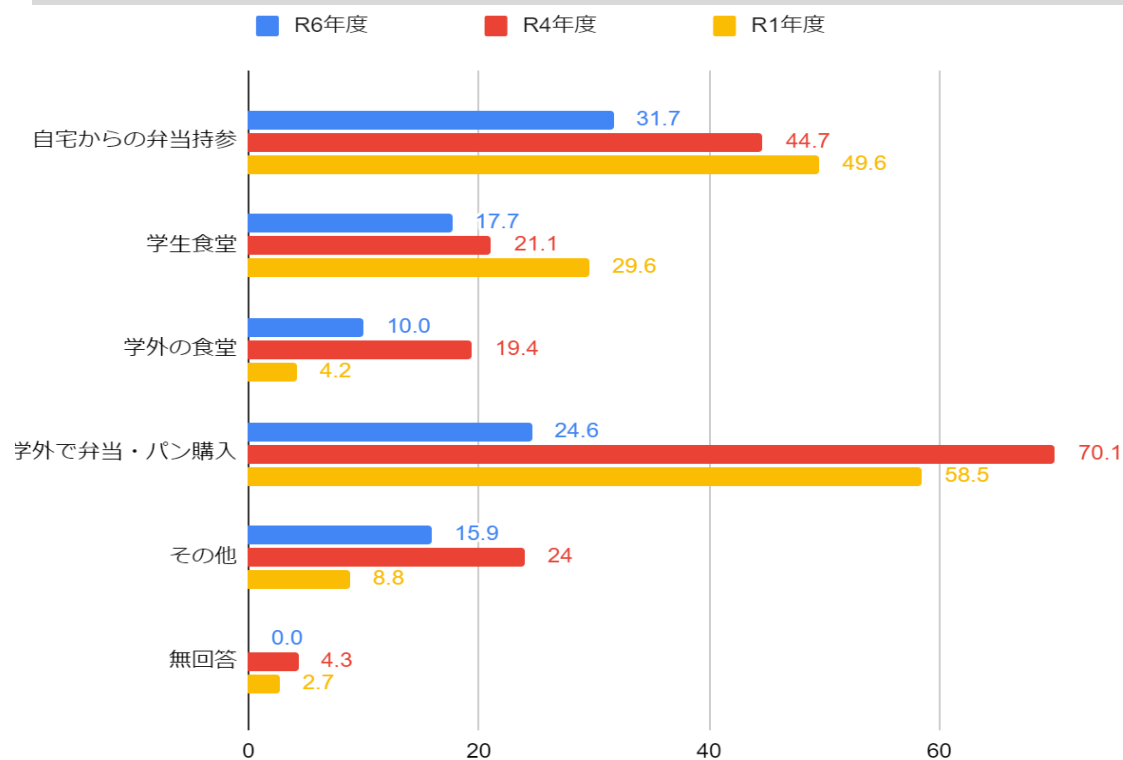
今回から新方式を実施。

昼食の手段について。「自宅からの弁当持参」(31.7%)の割合が最も高くなっている。

前回まで最も割合の高かった「学外で弁当・パン購入」は24.6%と割合が下がった。

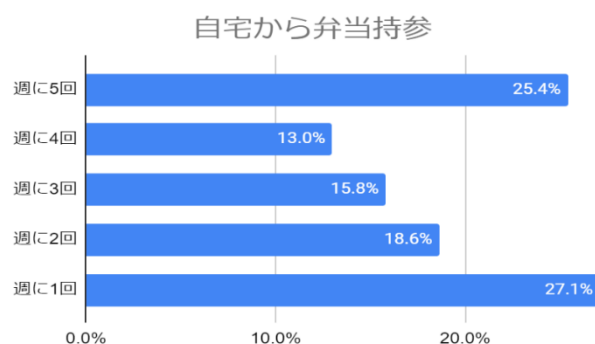
Q1の問いで「実家」の割合が高くなっている点と、経済情勢が厳しい点が影響していると

考えられる。「自宅からの弁当持参」の回答者は週に5回食事をする割合が高い点も特徴。



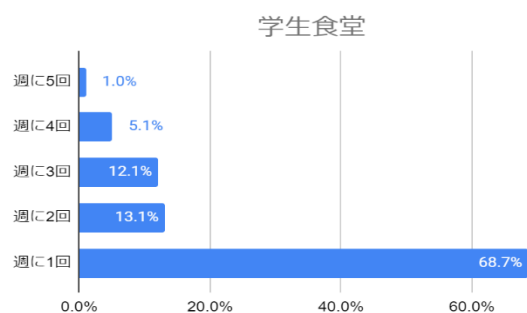
「自宅からの弁当持参」(n=177)

「週に 1 回」の割合（27.1）が最も高くなっている。



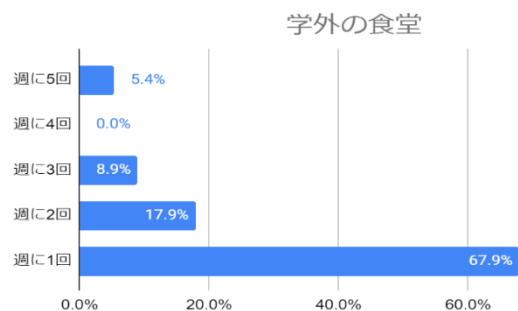
次いで、「週に 5 回」が 25.4%と
なっている。他の昼食手段と比較して、
昼食を取っている割合は高くなっている。

「学生食堂」(n=99)



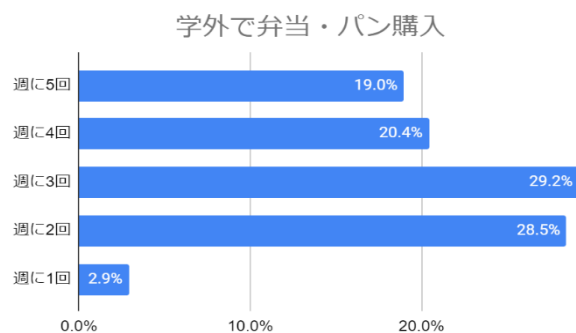
「週に 1 回」の割合が突出して高く
なっている（68.7%）ことから、昼食手段と
しての順位はあまり高くないことが確認できる。
「週に 5 回」の割合はわずか 1%という結果
になっている。

「学外の食堂」(n=56)



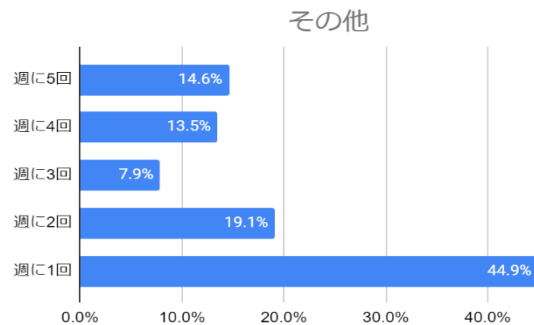
「週に 1 回」の割合が突出して高く
なっている（67.7%）ことから、昼食手段と
しての順位はあまり高くないことが確認できる。
「週に 5 回」の割合はわずか 5.4%と、決し
て高い割合になっていない。

「学外で弁当・パン購入」(n=137)



「週に 3 回」の割合（29.2%）が最も
高くなっている。次いで「週に 2 回」
（28.5%）の割合となっている。
回答総数からも、「自宅から弁当持参」に次
いで高い昼食手段となっている。

「その他」(n=89)

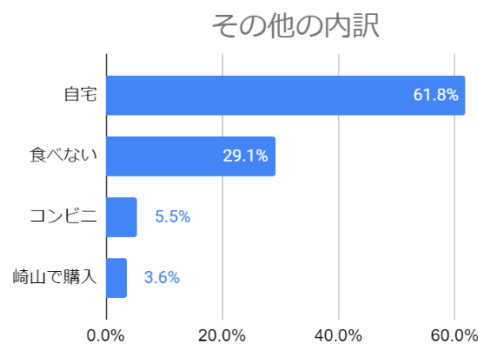


「週に1回」の割合（44.9%）が突出。
「週に5回」の割合（14.6%）も一定数存在している。

後述するが、その他の中には
「自宅で昼食を取る」「食べない」といった割合が高くなっている。

「その他」(n=89)の内訳

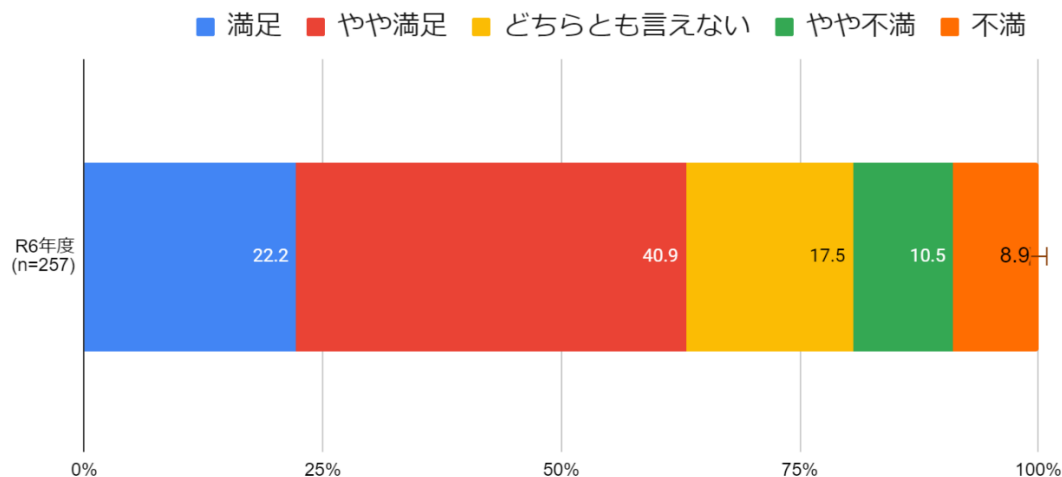
「その他」の回答者で最も割合が高いのが「自宅」での昼食になっている。再度述べるが、自宅からの通学割合と経済状況の関連性があると推測されます。次いで高い割合になっているのが「食べない」という回答（29.1%）であった。



「たべない」の理由には、「キャンパス間の移動などで時間が取れない」というものと「経済的に厳しい」という理由が考えられる。また、それ以外の回答でも「週に5回」未満の学生も週に何日かは昼食を取っていないことも合わせて推測されます。それ以外では、崎山キャンパスに定期的に出店する業者から購入する（3.6%）、コンビニ（5.5%）という回答もあった。

Q35 授業以外での学校の環境（施設設備）に対する満足度を教えてください。

今調査からの新設問。「やや満足」（40.9%）の割合が最も高く、「満足」（22.2%）と合わせると 6 割を超えている。「やや不満」（10.5%）、「不満」（8.9%）だが要望は多岐に渡っているため後述する。



Q35 で「不満」を選択した場合、授業以外での学校の環境（施設設備）についての要望を入力してください。自由記載

【要望】

奏楽堂近辺の通信環境が悪い。練習室近辺の環境が悪いように思う。空気の通りが悪く、クーラーが直ったと思ってすぐ壊れる。ロビーに椅子や机がもう少し欲しい。火曜日など、1・2 年生が副科で午後まで全員残ると場所が足りない。音楽棟の中庭？（教授のお部屋の前）的なベンチと机が置いてある場所をも少し有効活用したい。

居場所がない。

練習室が少ない、夏暑い、古い（5 件）

交通機関がない

一般教育棟の 2 階 3 階にも多目的トイレが欲しいです

図書館と福利厚生棟のお手洗いにウォシュレットがあると嬉しいです。（わがままですみません。）

大講義室の椅子を早く直して欲しい。（10 件）

崎山キャンパスに食堂か購買部が欲しい（5 件）

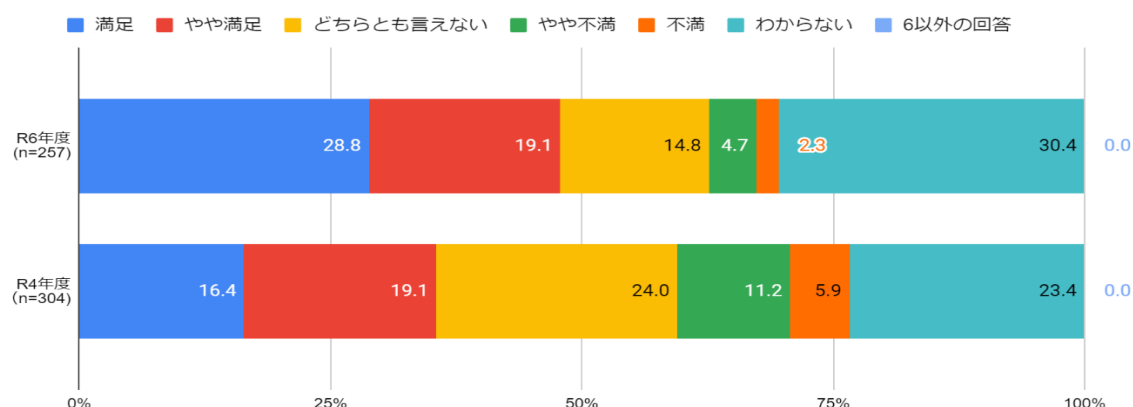
崎山キャンパスの学生駐車場が暗くて人目も届かないのでもう少し明かりを増やして欲しい。（3 件）

301 の水漏れが原因で使える椅子が減っている現状です。なるべく早めに直すべきだと思います。

崎山キャンパスにも、当蔵キャンパスのロビーのような 1 人でも利用しやすい仕切り付きのカウンターやテーブルがあると嬉しい。
図書館の奥にある教室のテーブルつき椅子が左利きにはつらいです。
アトリエが狭い、少ない（4 件）
最近音楽棟の扉が閉まりにくく、強い風が閉まっていない扉から吹き込み寒いです。
長期休みや授業外の時間も学校を開放して作品制作させて欲しい。
学内に画材や軽食を買える購買が欲しい。
画材の出張販売の契約を、何処かしらの画材屋と結んで欲しい。
奏楽堂にエレベーターがあると助かる
サークル活動で使用する用具の保管場所に困っています。
音学棟 4 階に電子レンジの設置をお願いしているが、電子レンジはあるのにいつまでも設置されない。諸問題が解決できないと聞いているが、半年以上も放置されていて、解決する気がないように見受けられる。
トイレに荷物をかけるフックを付けてほしい。荷物の置場がないため、外に置くと盗難が心配。（2 件）
設備の劣化
仮眠室があるといい、
コンセントが充実している作業スペースが欲しい。もしくは図書館に wifi を。
制作で利用できる時間がもっと欲しい。院生以上は申請で夜の 10 時までなど時間の延長をして欲しい（安全面の考慮による設備の使用制限を設けた上での時間延長）
学生ロビーにクーラーを設置して欲しいです。とても暑いため。また、冬はとても寒いです。
ピアノを初めとした楽器管理
防音がない、カーペットが汚れたままで埃っぽい

Q36 学生食堂に対する満足度を教えてください。

リニューアルに伴い「満足」の割合（28.8%）が前回（16.4%）から大きく向上した。一方、「わからない」の回答の割合（30.4%）が最も高くなっていることから、キャンパス間の移動や経済的な事情で利用できない学生も相当数いることも推測される。自由記載では「美味しかった」「従業員が寄り添ってくれる」といった好意的な意見が多くみられる。



Q36 を回答した理由を教えてください。（自由記載）

【理由・好意的】

美味しい・美味しかった （51 件）
安くて助かる （19 件）
学生に寄り添ってくれる。従業員が優しい（7 件）
以前の食堂よりも提供が早い（7 件）
環境が良くなった（レコードや装飾も楽しめる）（12 件）
メニューが増えたのが嬉しい（9 件）
食堂に対して不満がないから（2 件）
13 時半以降に半額になります。感謝です。
ないよりはあったほうが良いと思ったから
インスタの運営もしていて色んなものを販売してくれて楽しい
定期的にお菓子を売ってくれるから。
開いていない期間が長かったから開いているだけでも十分。
後期に入って久々に温かい学食を食べられて嬉しかったです。
食堂がようやく再開し、とても喜んでいる
近くて便利です
わざわざ学外にお昼ご飯を買いに行かなくて済むから

バナナケーキが美味しかったです。
あったかい沖縄そばが食べられる。
多少混雑していることがあるが 満足。
お湯や電子レンジを使えてありがたいから。
ちょうどいい量で食べられると思ったからです。
栄養が多い

【要望】

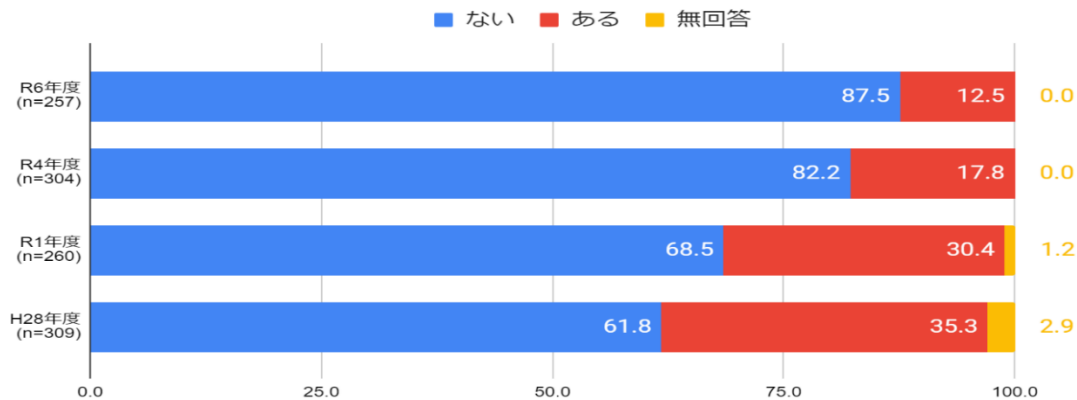
メニューを増やして欲しい（9 件）
量を増やして欲しい（3 件）
甘いものも食べたい（2 件）
キャッシュレスが使えたらうれしい
買って持って帰れる、惣菜やおにぎり、パンの売り場があると有難い
量が少なめがあるといい
具だけ販売して下さると、節約にもなりますし、もっと学食に行くと思いました。

【不満・他】

行ったことがない、利用したことがない（47 件）
お金がない（4 件）
（キャンパス間の移動等で）時間が合わない、時間がない（25 件）
少し高い（15 件）
美味しくない（5 件）
家で食べる（3 件）
弁当派のため（7 件）
静かな場所で昼食を摂りたいため。アトリエで食べているから（2 件）
食堂が少し臭いと思う。強い消毒や薬品のような匂いがすることがよくある。
野菜が少ない
施設を知らない

Q37 学生食堂の提供する食事（営業方法など）について、要望することはありますか。

学生食堂の提供する食事への要望について、「ない」の割合が 87.5%、「ある」の割合は 12.5%となっている。要望の割合が低くなっている。内容は多岐に渡っているため後述する。

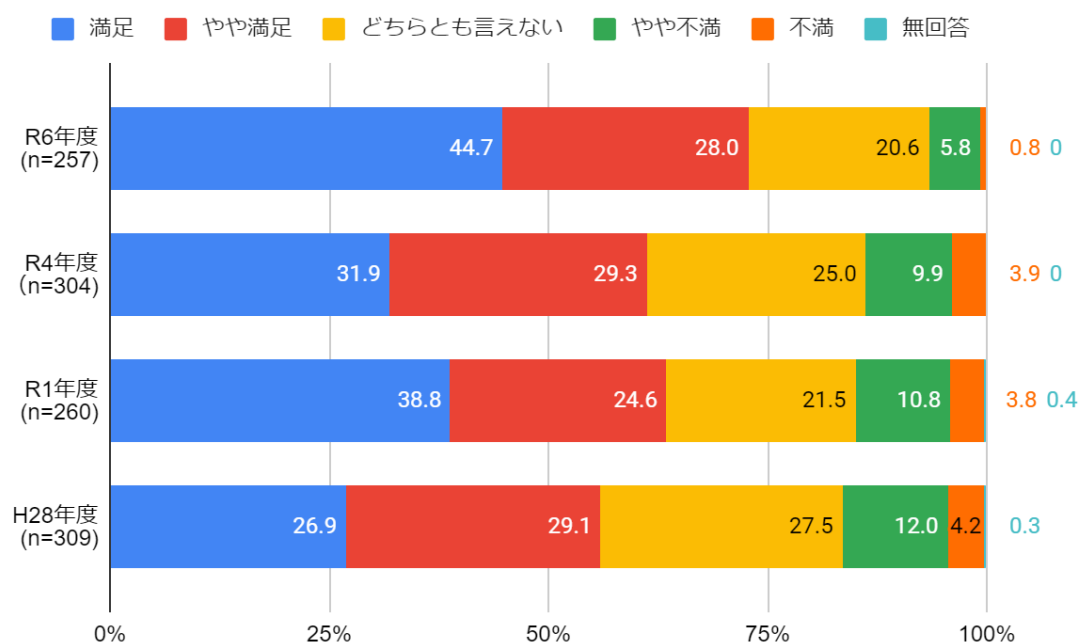


【要望】

崎山キャンパスへの対応（時間や出張販売等）（7 件）
もし可能であればコーヒーを売ってほしいです(._.)
量の選択がもっとあると嬉しいです。（大盛、並、小などの対応）（4 件）
もっと安くして欲しい。（4 件）
納豆をレギュラーメンバーにしてほしい
ミニギャラリーを作って学生の作品を展示したりするともっと楽しくなると思う。
レンジ追加してほしいです。
テイクアウトをもう少し増やしてほしい。
学生もバイトできるようにして欲しい。
メニューが少ない。
夜の営業を希望
営業しているか分からないことが多いので
学生がよく通る場所にメニューや営業時間など記載されているポスターがあると助かります。金曜限定などで安くなど期間限定など検討していただけると幸いです。
ご飯 100 円+50 円くらいで、ご飯大盛りをつけて欲しい。トッピング 150 円くらいでにして欲しい。
四限の時間帯に利用したいのでもう少し営業時間を伸ばしてほしい
肉じゃが定番化してください！！豚汁とごぼうサラダ追加してほしいです！！！！
脂質が多い。
温かいごはんが食べたいです。
デザイン棟にあるような、お菓子やカップ麺の自販機があると有難い

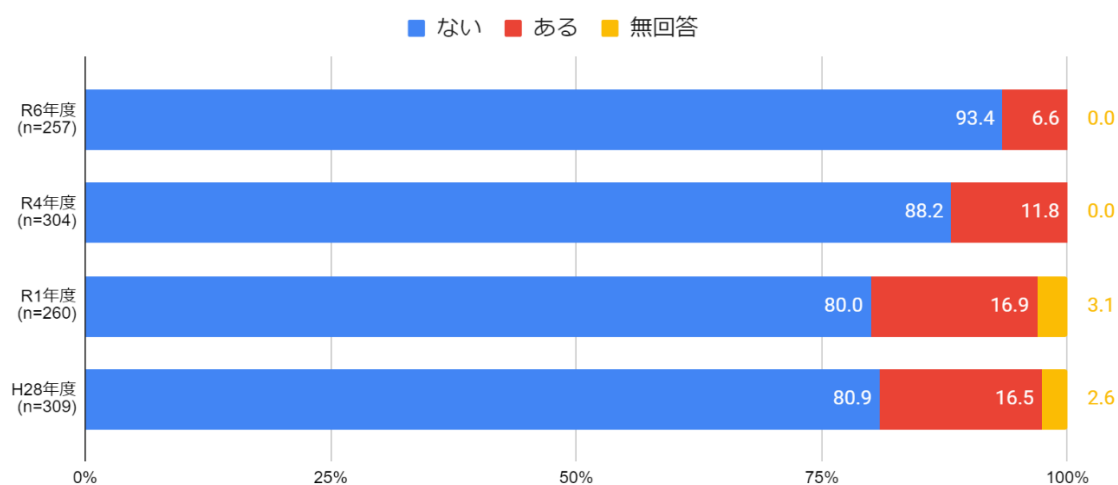
Q38 事務職員の窓口対応に対する満足度を教えてください。

事務職員の窓口対応について、「満足」（44.7％）が最も高く、前回から大幅にポイントが上がった。次いで「やや満足」（28.0％）と合わせ 7 割以上に達している。それに伴い、「やや不満」（5.8％）、「不満」（0.8％）の割合となり 4 回の調査で続けて低下している。



Q39 事務職員の窓口対応について、利用しやすくするために要望することはありますか。

「ない」の割合（93.4％）が過去 4 回と比較して最も高くなっている。
それに伴い「ある」の割合（6.6％）は最も低くなっている。



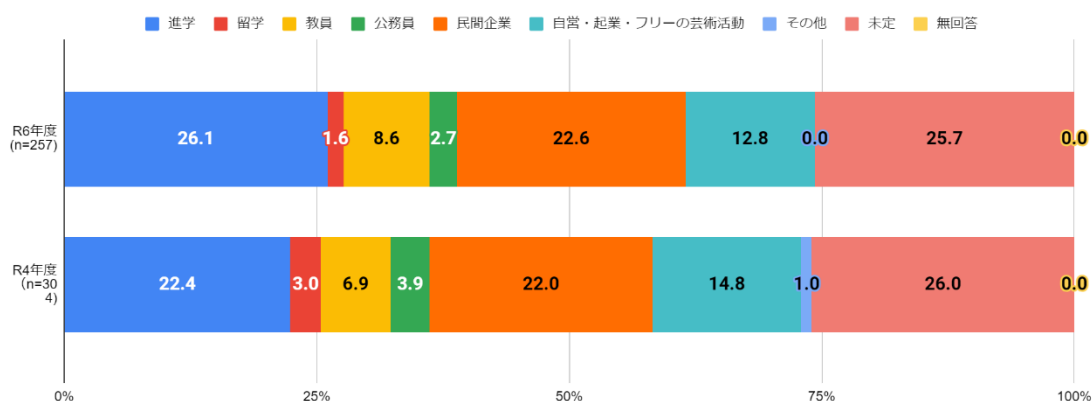
【要望】

アポ取ってるのが不在の時があった
8 時 40 分に開けてください
減額申請、奨学金の書類などの情報提示が遅いため、いつも締切までの猶予がない。
事務を利用したい、できる時間は基本的に昼休みや午後の講義終わりにもかかわらず空いていない為、学生と事務の昼休みの時間をずらすなどの対応をして欲しかった。初年度や 2 年次など午前の講義をフルで取りながらだと全く利用できない為、非常に活用しにくかった。
学生の授業がない昼休みの間に、対応できる人を増やしていただきたいです。いつも忙しい中対応していただき感謝しております。
学生の昼休みと、職員の昼休みは時間をずらすべきだと思う。行っても担当がいなく、電話で連絡がくるが、口約束のためあとで内容が誤っていることが多々ある。
間違いことが多くて、
職員内で共有が不十分なところがある。
全学教育センターと各学部との連携が上手く行っていない印象を受けます。 それゆえに必要な手続きで二度手間を踏んだり、対応の遅さに憤りがあったりしています。
崎山キャンパスの人が午後の授業終わりにも利用できるような時間設定にして欲しい。それか、崎山キャンパスにも対応できる人を派遣して欲しい。
担当者から返事をするといって、返事が来ないことがある。
ミスが多い
崎山に行く学部の生徒が利用しやすくしてほしい 昼休みの時間をずらす メール等で対応できるようにするなど
いつも優しく丁寧な対応をしてくださってすぐ利用しやすいです。いつもありがとうございます。
窓口の受付時間を長くして欲しい。 授業が終わって 窓口で相談しに行こうとすると窓口が閉まっていることが多いため、受付時間を 1 時間ほど伸ばしてほしい。
個人情報大切に扱って欲しい

Q40 卒業後（修了後）の進路の第一希望はなんですか。

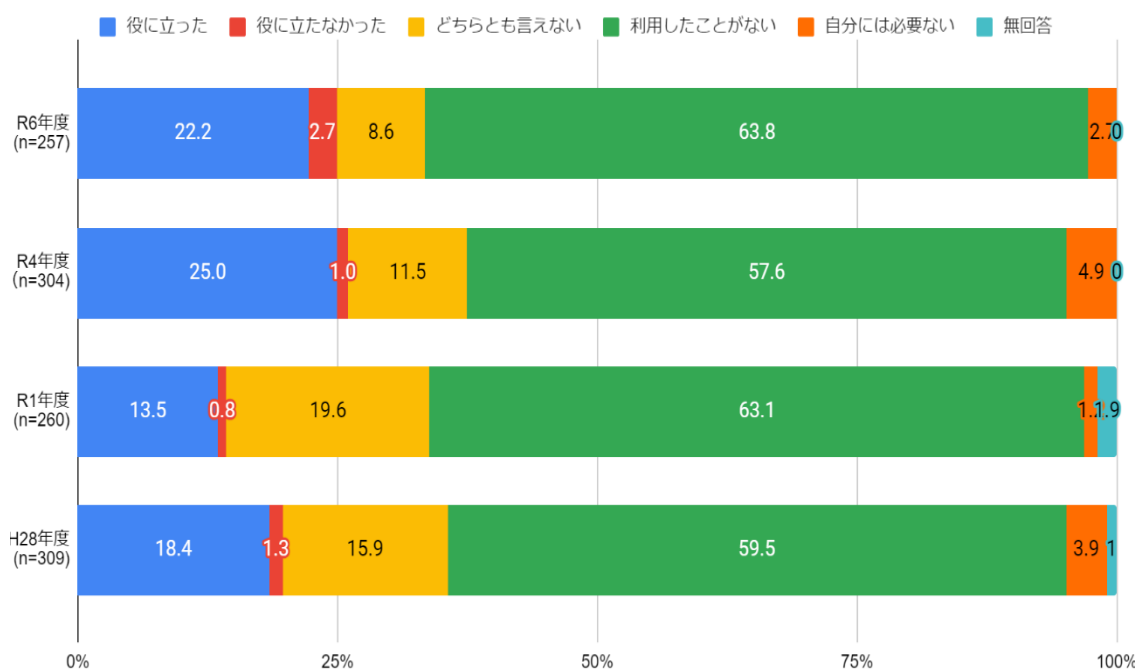
抽出方式の変更のため、前回調査（令和4年度）との比較。

「進学」の割合（26.1％）が最も高くなっている。次いで「未定」（25.7％）、「民間企業」（22.6％）の順となってる。



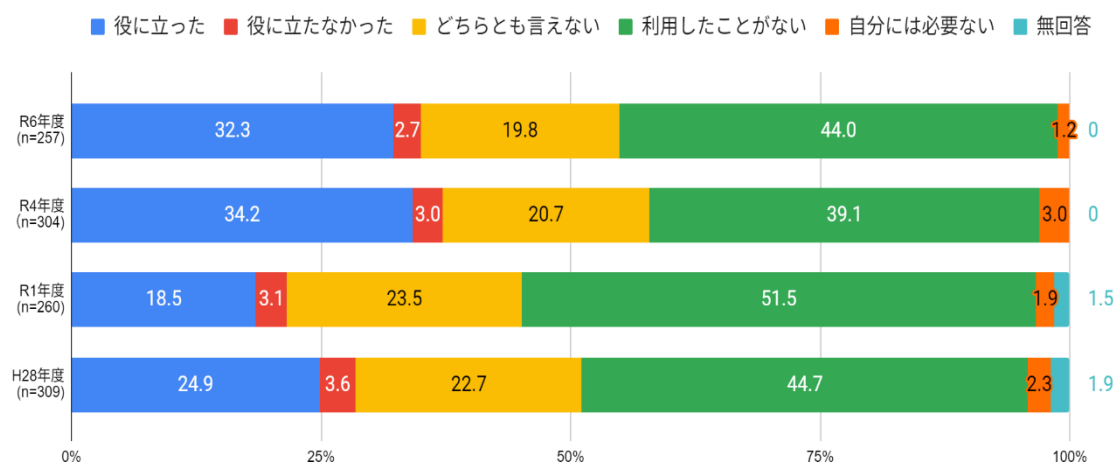
Q41 就職支援アドバイザーによる就職相談について

就職支援アドバイザーによる就職相談について。「利用したことがない」の割合（63.9％）が最も高くなっている。「役に立った」は前回（25.0％）より約3ポイント下がっている（22.2％）。



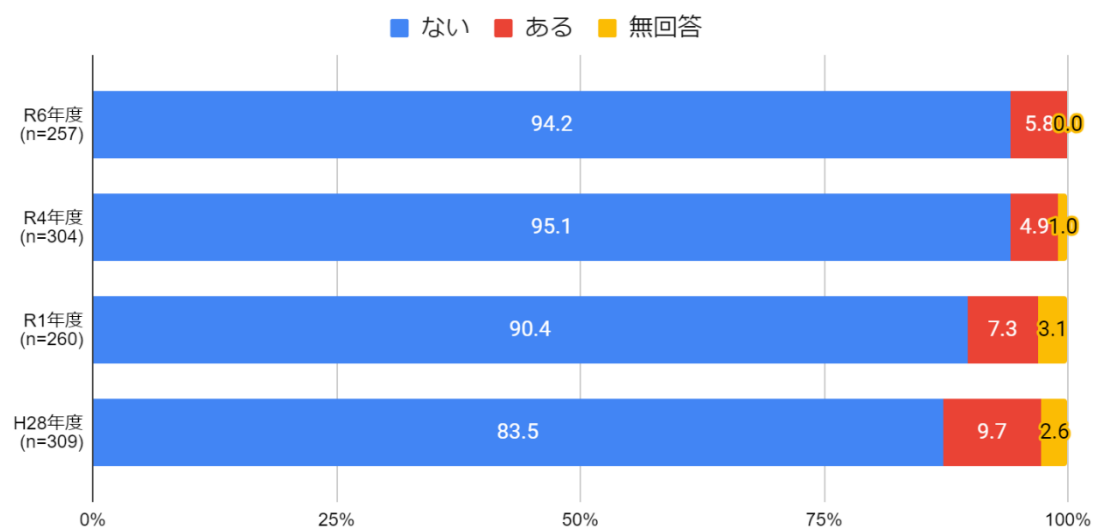
Q42 進学や就職に関する教員の説明や指導について

進学や就職に関する教員の説明や指導について。「利用したことがない」の割合（44.0%）が最も高くなっている。「役に立った」（32.3%）は前回より約2ポイント下がっている。「自分には必要ない」は4回の調査を通して減少傾向が続いている。



Q43 進学や就職に関する本学の指導や説明について要望がありますか。

「ない」の割合（94.2%）。「ある」（5.8%）。約1ポイントの増減が見られたが、「ある」の割合は低下傾向が続いていると考えられる。

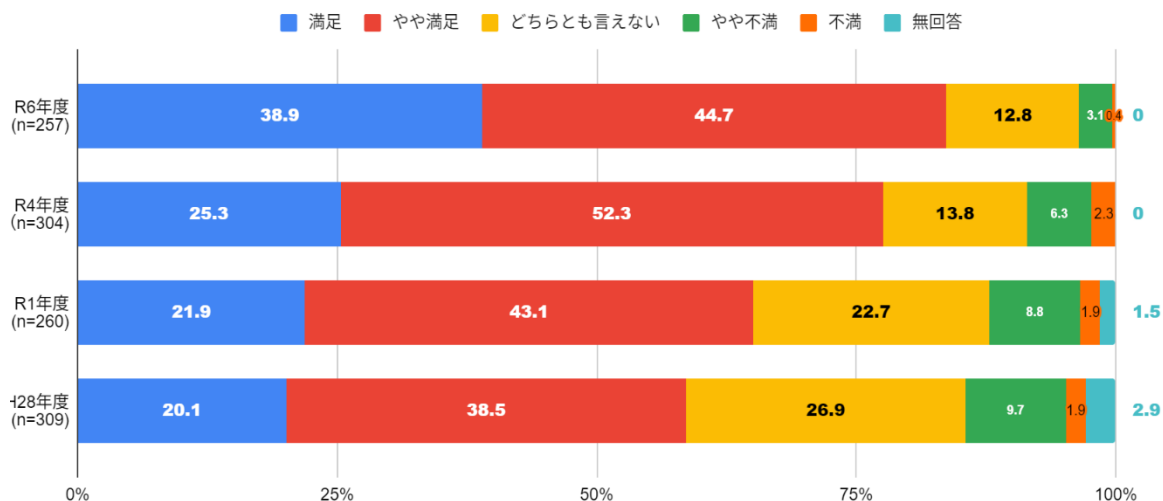


【要望】

芸術とキャリアデザインを 2 年次もしくは 3 年次の必修科目にしても良いと思います。
職業紹介をもっと強化してほしい。就職相談を利用したことがあるが、ただ世間話をしているだけで、相談になっていない。何のために時間を作っているのかわからなかった。結局自分で就活をした。
卒業生のポートフォリオの公開や各業界への OB・OG 訪問の機会をして欲しいと思います。
2 年生後期の春休みにインターンシップ等のガイダンスや就活対策を行なってほしい
一般の大学に比べて専攻の教員からの進路指導が少ないと感じます。
インターンシップの情報や企業についての情報は自分だけの調査だどうしても限りがあるのだ、もっと学校側にある情報を知らせてほしい。
教職の説明会をしてほしい。どんな試験内容で、面接ではこういう内容を聞かれることがあるなど、教員採用試験の対策をもっとしてほしい。既にあるのなら、認知されるようにしてほしい。
就職について語ってくれる先生がもっと増えて欲しい 就職先になりそうな職種の方の話を聞きたいので、教授の力で呼んできて欲しい
どこに相談したらいいのかわからない、LINE があるらしいのと予約するらしいのは知っているがハードルが高い。不安はあるが明確な相談内容がないので相談にいけない。
インターンシップを募集している企業や芸大の学生を求める企業と生徒を繋げるという働きかけをもっとしてほしいです！
本人許可を貰っている過去の学生の学生時代の活動から卒業後の活動をまとめたリストを作ってもらいたい。
就職相談の方は親身に相談に乗ってくれるが、進学となると相談できる人がいない。
専攻ごとに、卒業後にどのような仕事や就職先があるのか、先輩の事例などをもとに聞いてみた。
進路室の方々の学生に対する理解度が低く、話が進まない。一般大学とは違う学部学科しかないにも関わらずそこに寄り添ってくれている感じがしない。毎回会うたびに「その学部ではどんなことしてるんだっけ？」と聞かれたり、この大学のことを知る気がないのでどうやってサポートするんだろうと疑問に思う。足を運びづらい。

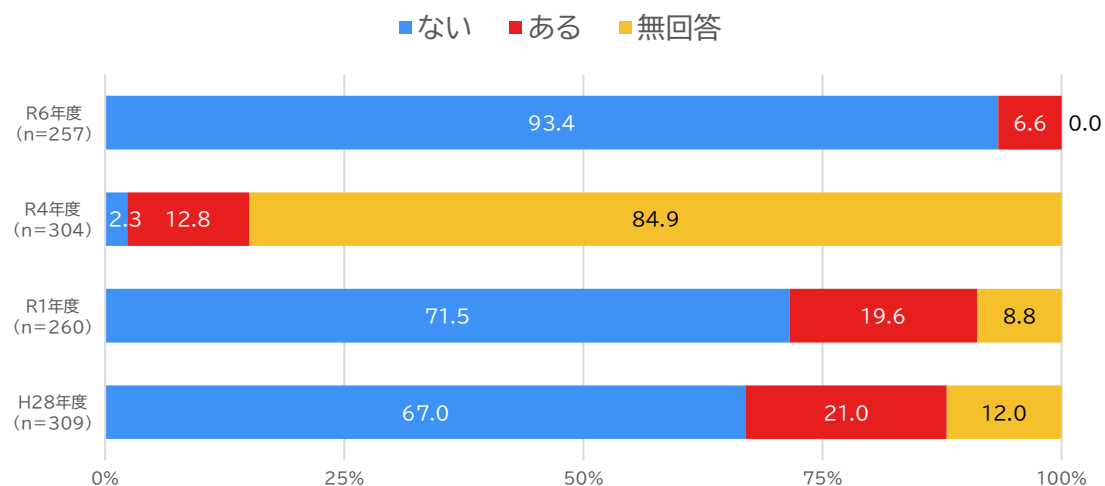
Q44 総合的に見て、現在の学生生活にどの程度満足していますか。

「やや満足」の割合（44.7%）と最も高くなっている。次いで「満足」（38.9%）、「どちらとも言えない」（12.8%）、「やや不満」（3.1%）、「不満」（0.4%）の順となっている。「満足」と「やや満足」を足した割合（83.6%）が過去 3 回と比較し最も高くなっている。



Q45 これまでの回答の補足やその他の問題点について、また、施設や制度の要望等、何か意見はありますか。

「ない」の割合（93.4%）と最も高くなっており、過去 3 回と比較し最も高くなっている。



【要望】

チャイムが 2 分前に鳴っているので、修正していただくと有難いです。(2 件)
前年度は成人式前に大学がなかったにもかかわらず、今年度は 2 日程登校日があり、帰省しなければならないにもかかわらず公欠にならないのはおかしい。早急に対応して頂きたい。(2 件)
成人式や同窓会の時期に演奏会をしないでほしいです。一生に一度しかありません。
崎山キャンパスの食事情 (コンビニ、購買、売店等) (4 件)
冬の始業時間を少し遅めにしてもらえると、助かります。
大講義室の後ろの方の椅子ボロすぎ。あと天井雨漏りやめて欲しい
とにかく崎山キャンパスの学生駐車場の整備をして欲しいのと、街灯などの灯りをつけてほしいです。
練習室電気がきれたら、つけてくれるまでに時間がとつてもかかあるので、もう少し早めに電気交換お願いしたいです。あと、練習室ゴミ回収だけでなく、毎日じゃなくてもいいのでお掃除もお願いしたいです。
駐車場は当蔵の問題は当蔵だけではなく、崎山も同様に改善を希望する
デザイン三年の教室の椅子についてですが、用意されている各机の椅子が毎日足りない状態です。そもそも学年最初の頃は全員分ありましたが、他の場所に持って行かれたのか今は学年の人数の半分にも満たない数しか教室になく、教室で講義を受ける際に毎回椅子の用意に苦労しています。椅子の用意を十分にしたいです。
陶芸の予算を増やしてください。特に窯などの故障により忙しい時期の窯が取り合いになったりなど、故障したままの窯が数台放置されている状態なのが非常にもったいないです。もちろんすぐに対応できないのは仕方ない事ですが、陶芸にとって窯は生命線なので惜しまず予算を使ってほしいです。ご予算の件どうかご検討の程よろしくお願いします。
授業の録画をオンラインで後から観られるとうれしい
奨学資金の採用をもっと積極的にやってほしい。遠距離通学生への交通費の援助が欲しいです。
以上の要望は、前回のアンケートでもほぼ同じ内容を入力した。今度こそ少くくは私たちの意見も実際に反映して欲しい。
午後、崎山で授業なのですが、午前中当蔵で授業を受ける際、午後の荷物を大量にもって出席というのがとても不便でした。今は車があるので前より不便は感じなくなりましたが、ちょっと休み時間にコンビニに行こうと思ったときにいちいち全ての荷物を持っていくのは面倒なので、県立博物館みたいに、1 日限定のコインロッカーがあったらいいな…と思いました。
練習室 17 の除湿機、はやく治してください！！練習室 11～17 のエアコンのリモコンが 1 部屋に 1 つずつなくて、全部で 4 個ぐらいしかないので 1 つずつほしいです！！
もうちょっと長く残らせて欲しい、もっと作業したい。責任者が必要な機材があるような作業室は閉めてもいいので通常の作業室等を使わせて欲しい。できれば泊まらせてほしい。
学部、学科、専攻で入校していい時間や曜日が異なることは機会の平等が保たれていない。これに対して対応を行わない、又は知らぬふりをしているようでは進歩しない。

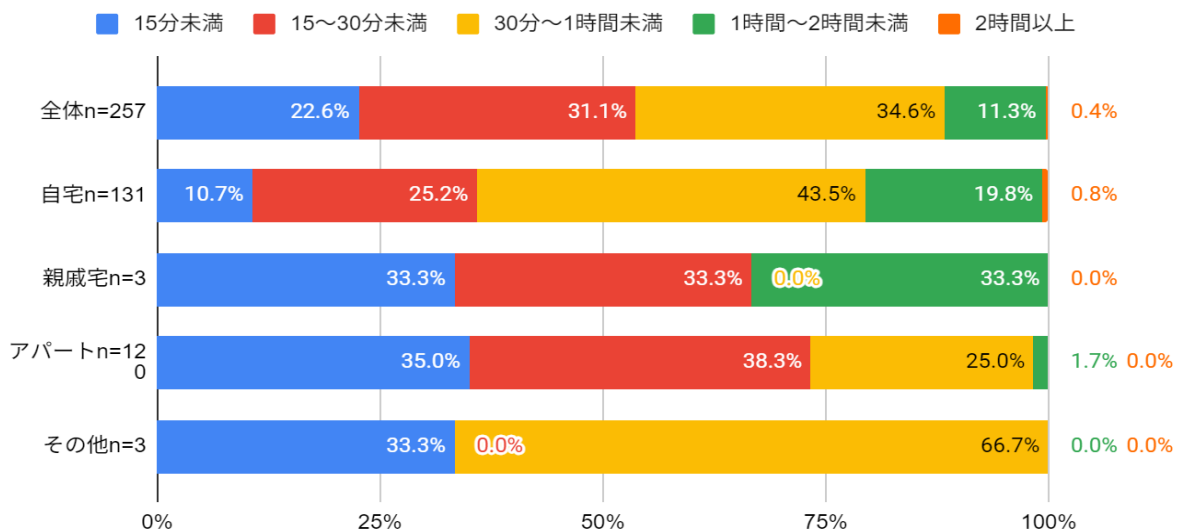
第4章 クロス集計

(1) 学生生活の現状について

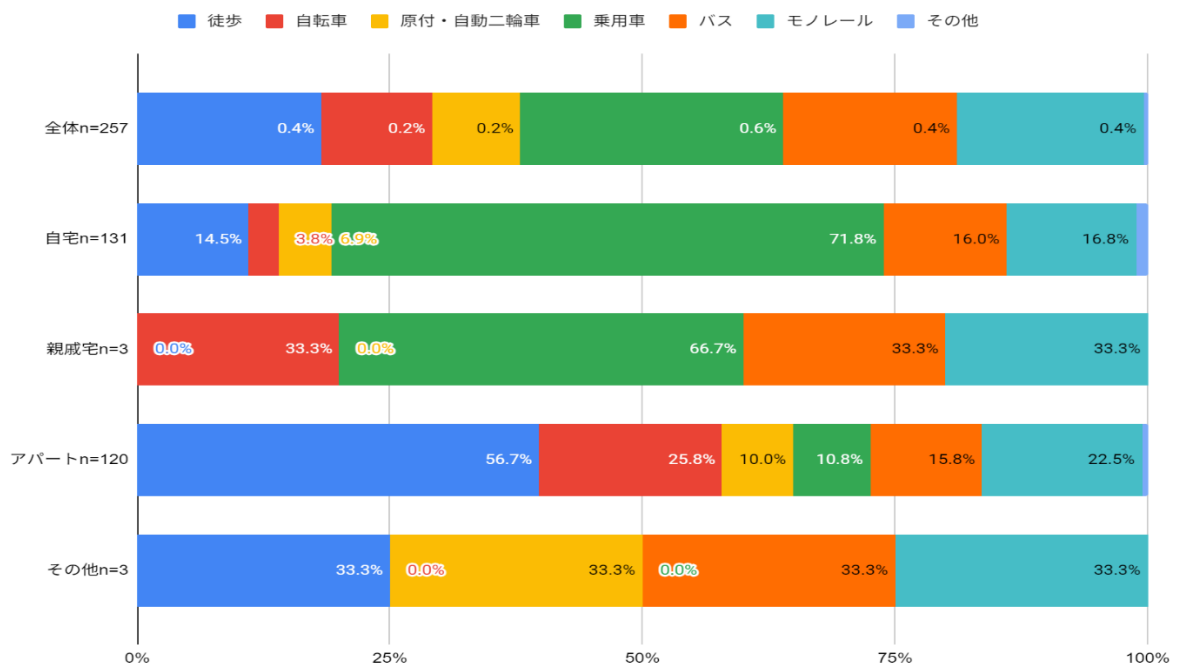
■Q1 住まい×Q2 通学時間×Q3 通勤手段

住まい別でみると、「自宅」では 30 分以上の通学時間で乗用車の割合が高くなっており、アパートについては 30 分以内で徒歩通学の割合が高くなっている。

住まい×通学時間



住まい×通学手段（複数回答）

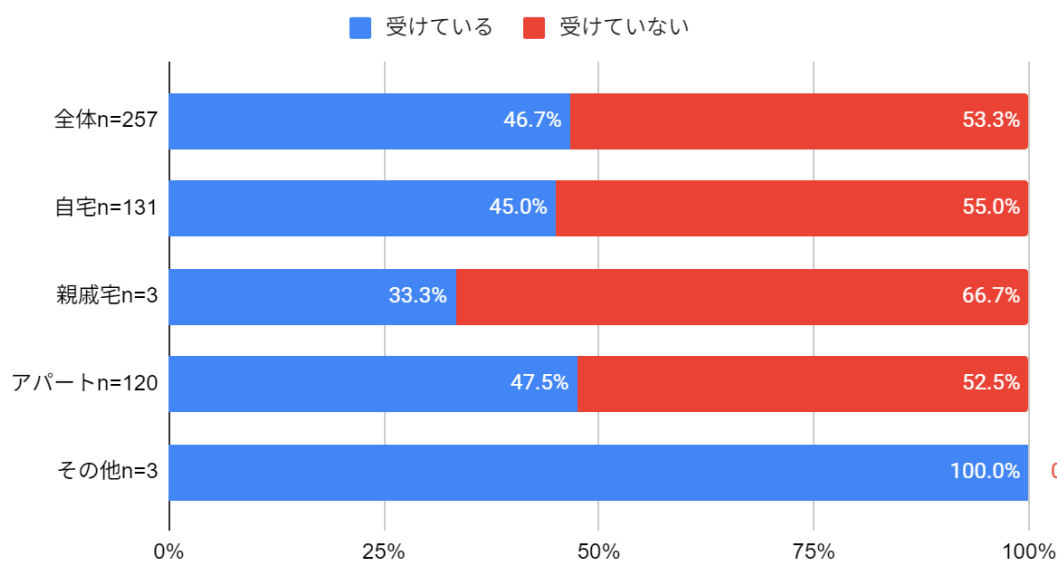


1 住まい×Q4 奨学金受給状況×Q5 アルバイト状況

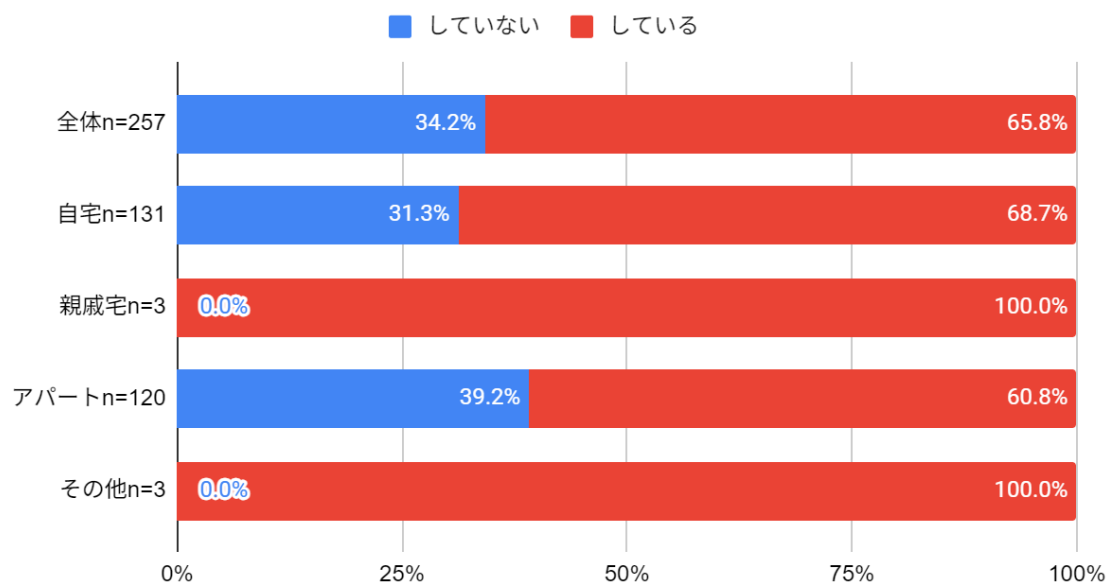
「自宅」と「アパート」で奨学金受給状況の差異は大きくないが、「その他」は3名全員が受給している。
アルバイト状況については、「アパート」のアルバイトをしている割合（39.2%）が「自宅」より約8%高くなっている。「親戚宅」「その他」も数は多くないが全員がアルバイトをしている状況である。

※「その他」の内訳＝兄と二人暮らし、民間の学生アパート、貸家

住まい×奨学金受給状況



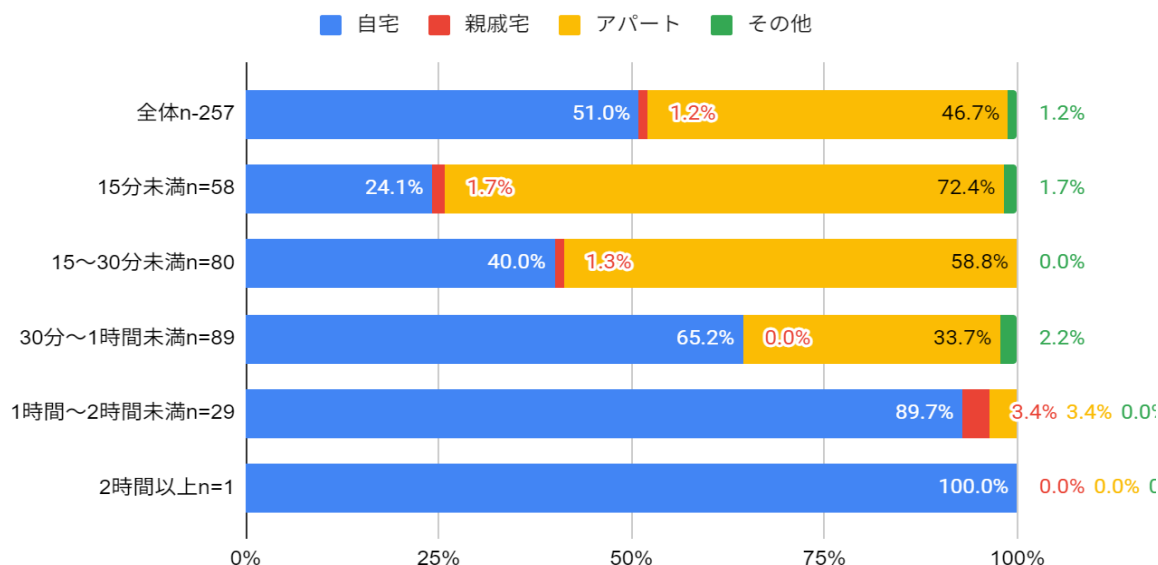
住まい×アルバイト状況



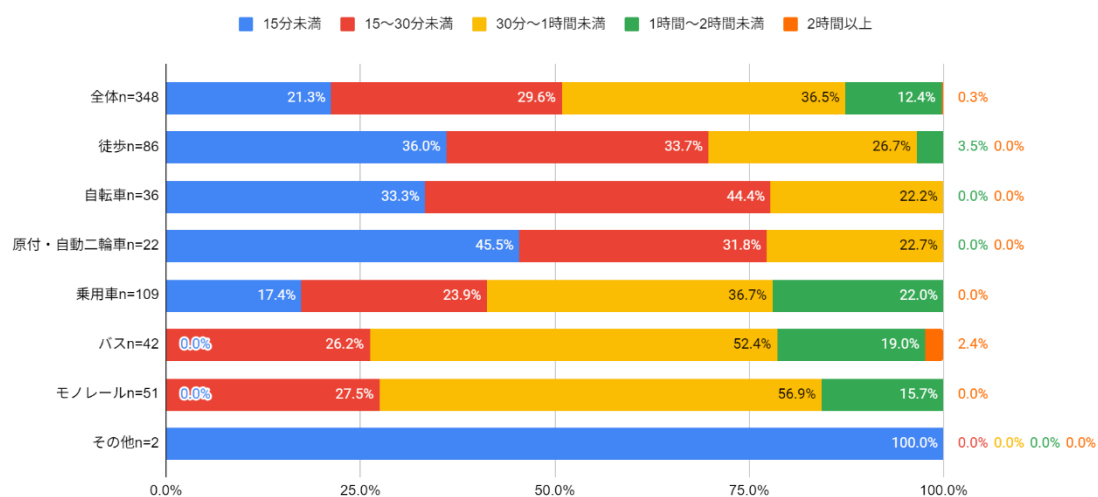
Q2 通学時間×Q1 住まい×Q3 通学手段

通学時間別の住まいについては、30 分以内で「アパート」の割合が高く、30 分以上では「自宅」の割合が高くなっている。通学手段別でみると、30 分以内で「徒歩」通学の割合が高く、「乗用車」は 30 分以上の通学の割合が高くなっている。「原付・自動二輪車」も 30 分以内の通学に使用される割合が高い。

通学時間×住まい



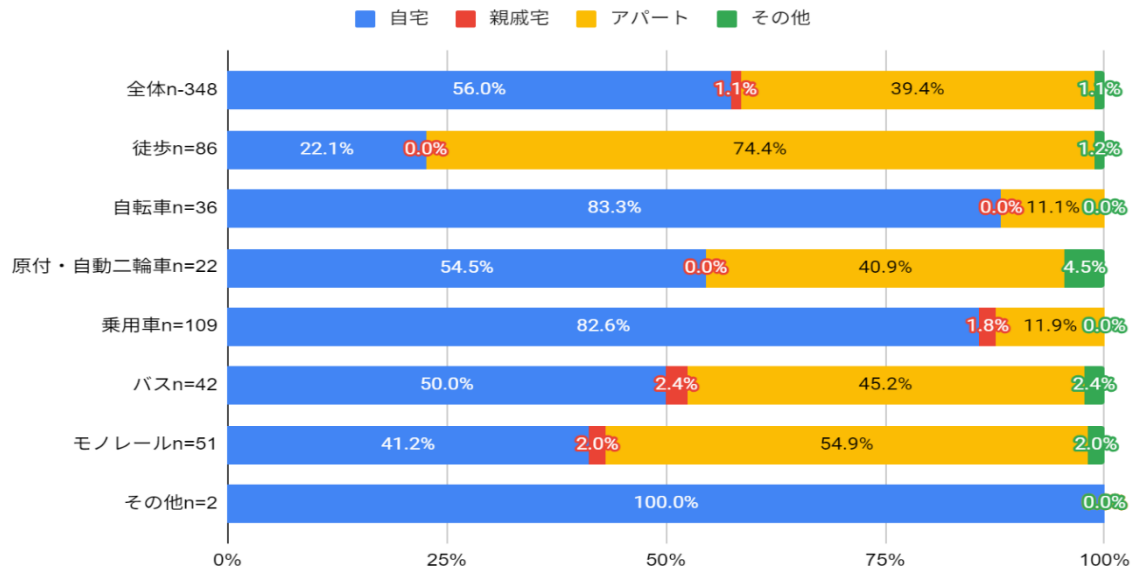
通学手段×通学時間



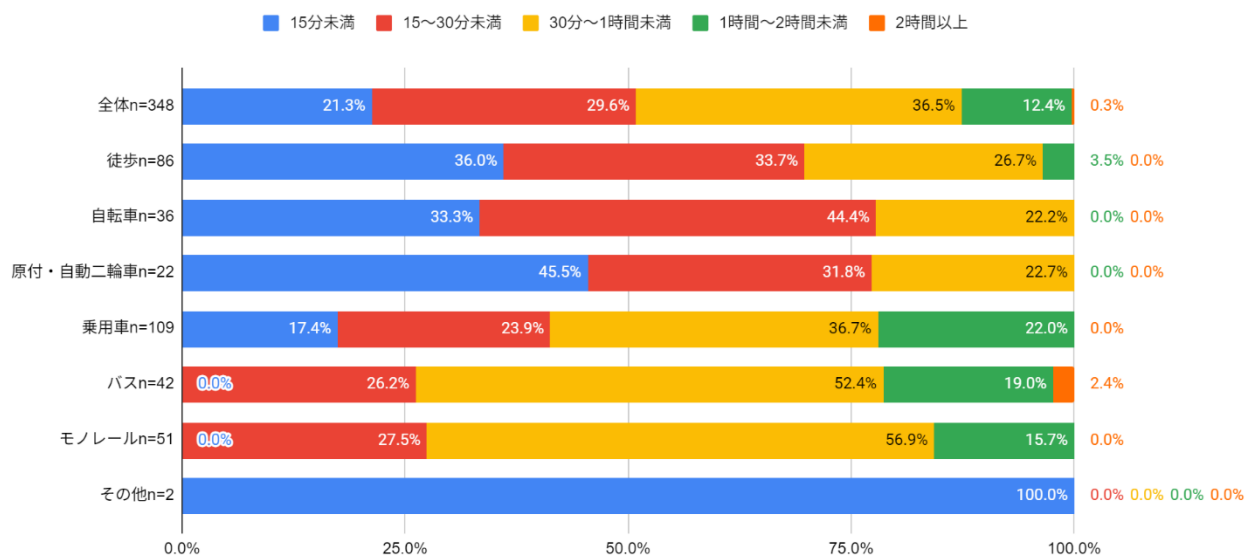
Q3 通学手段×Q1 住まい×Q2 通学時間

通学手段については、「徒歩」の割合は「アパート」（74.4%）が最も高く、「乗用車」は「自宅」で使用される割合（82.6%）が最も高い。「バス」や「モノレール」等の公共交通機関が使用される割合は比較的「アパート」が高くなっている。また「徒歩」の割合は通学時間「15 分未満」（36.0%）が最も高く、通学時間が 30 分以上になると「バス」「モノレール」の割合が「乗用車」よりも高くなっている。

通学手段×住まい



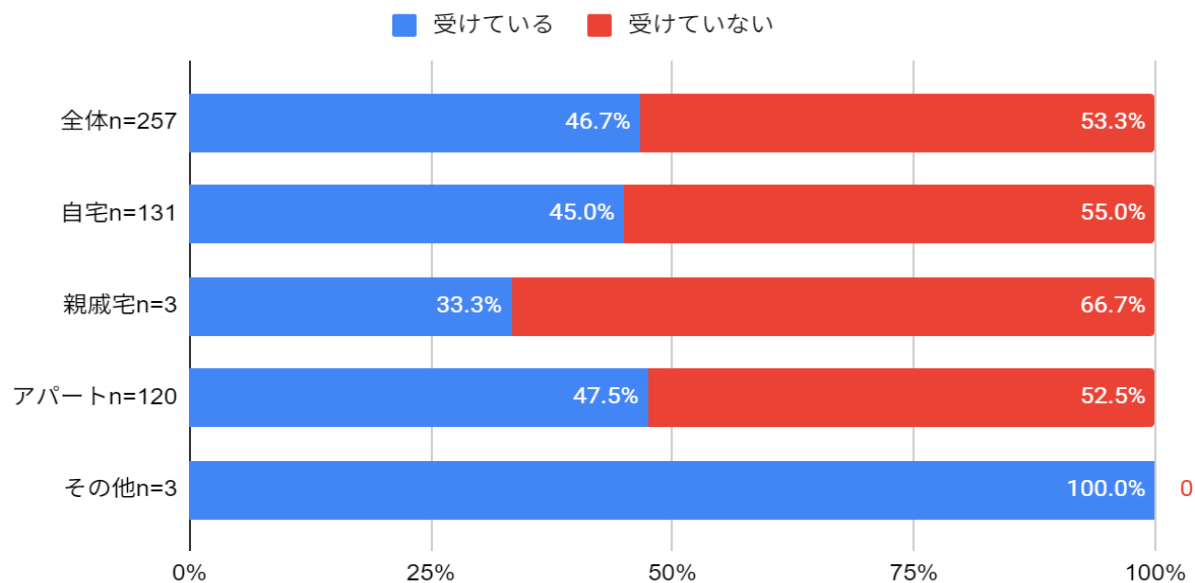
通学手段×通学時間



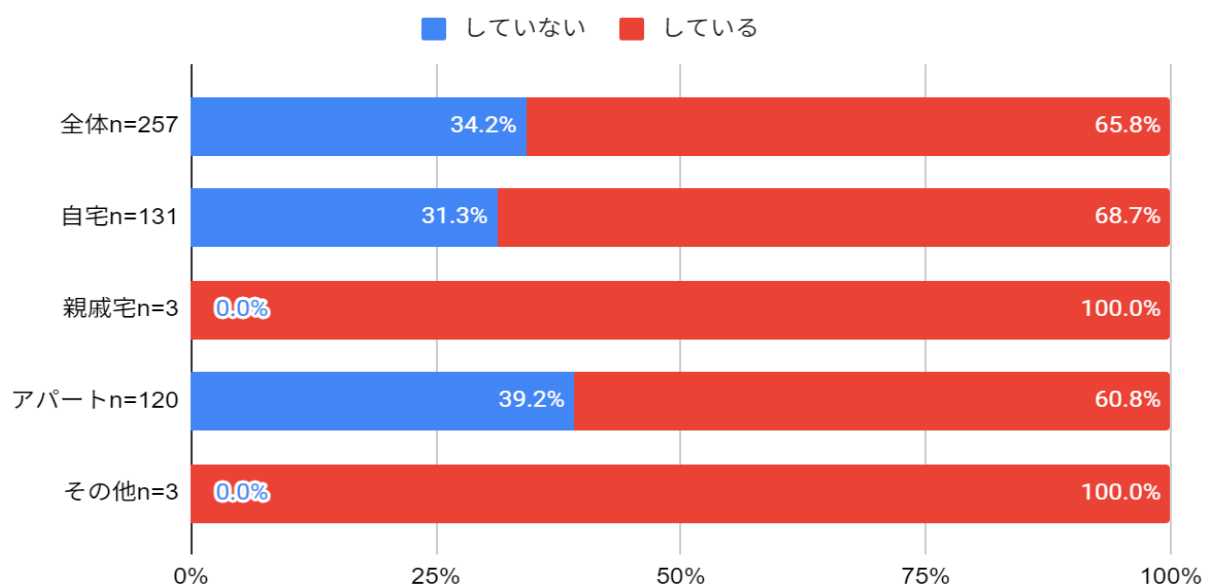
Q4 奨学金受給状況×Q1 住まい×Q5 アルバイト状況

住まいと奨学金受給状況については、「自宅」と「アパート」で奨学金受給状況に大きな差異は認められなかった。アルバイト状況についても同様であった。数は少ないが「親戚宅」「その他」の全員がアルバイトをしている。

住まい×奨学金受給状況



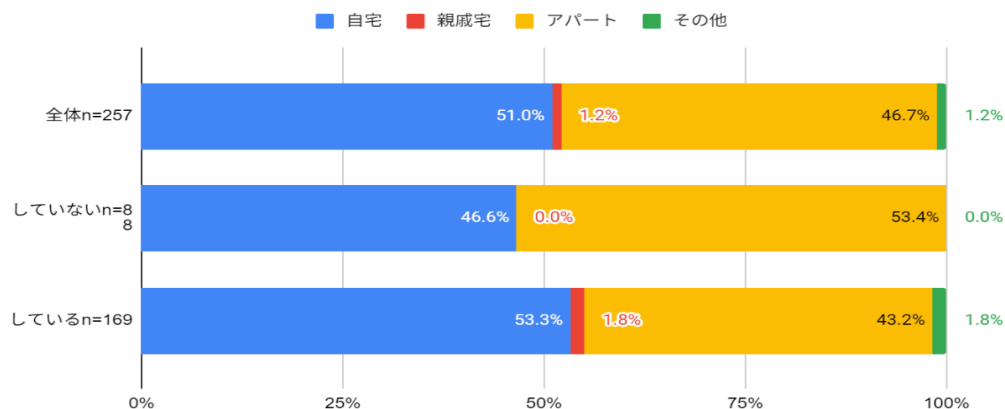
住まい×アルバイト状況



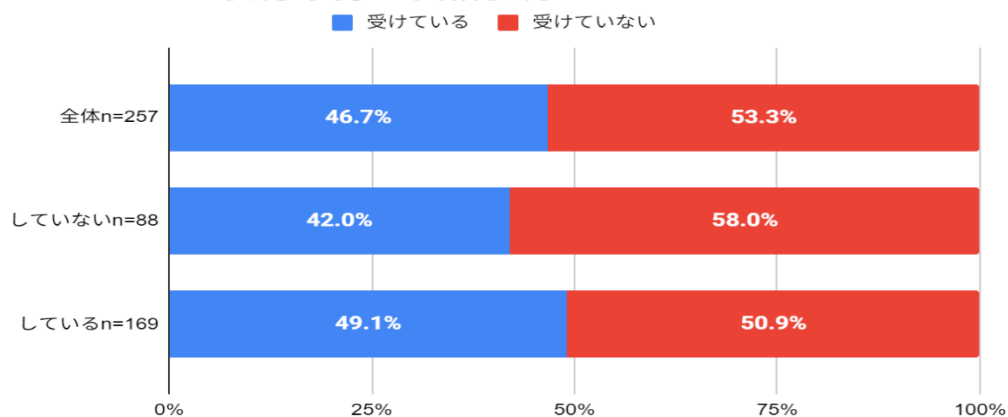
Q5 アルバイト状況×Q1 住まい×Q4 奨学金受給状況×Q6 アルバイトによる授業等への影響

アルバイト状況は「していない」割合は若干「アパート」が高く、「している」割合は自宅が高くなっている。アルバイトを「している」学生が奨学金を「受けている」と「受けていない」の割合は半々となっている。アルバイトの授業等への影響についてはアルバイト「していない」学生の方が「している」学生よりも「そう思う」「ややそう思う」の割合が高い。

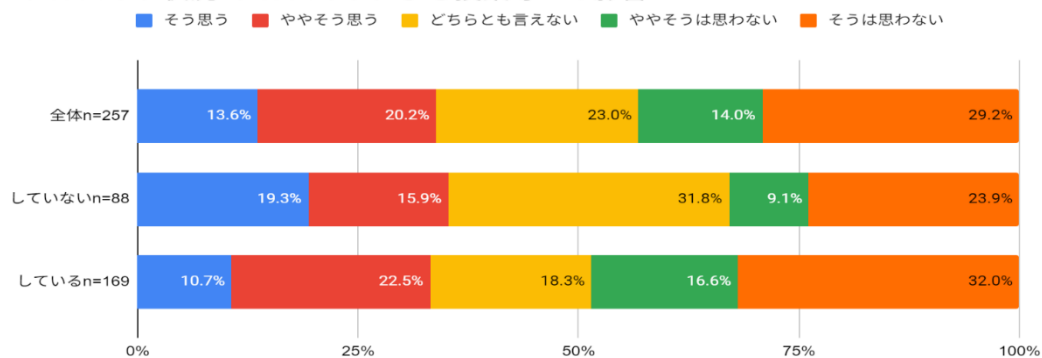
アルバイト×住まい



アルバイト状況×奨学金受給状況



アルバイト状況×アルバイトによる授業等への影響

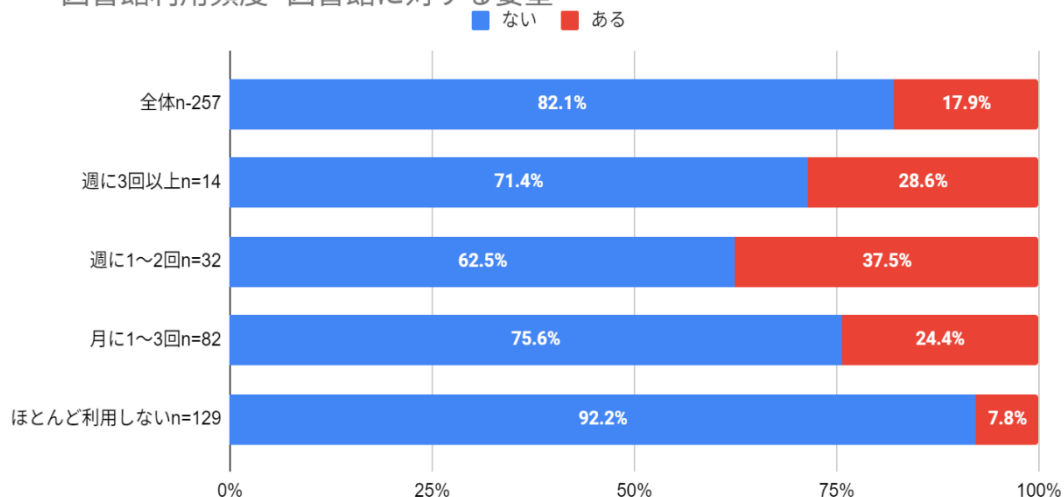


(2) 大学の施設や教育体制、支援体制について

■Q9 図書館利用頻度×Q10 図書館に対する要望

図書館利用頻度は「週に1～2回」が最も高く、図書館に対する要望の割合も最も高くなっている。

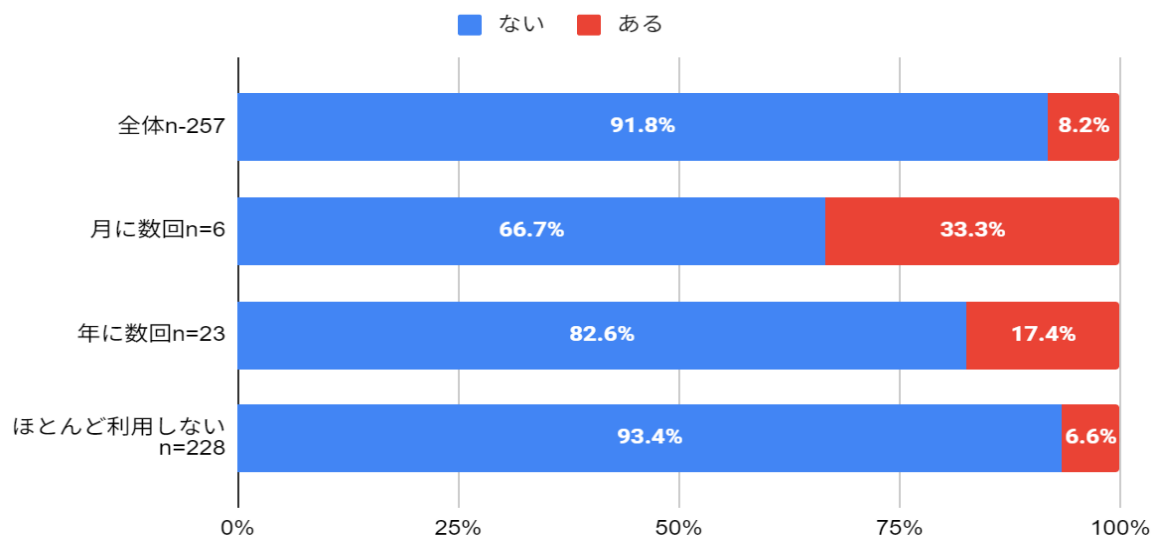
図書館利用頻度×図書館に対する要望



■Q11 保健室等利用状況×Q13 保健室等に対する要望

保健室等の利用状況別の要望については利用頻度が高いほど要望が「ある」割合が高くなっている。

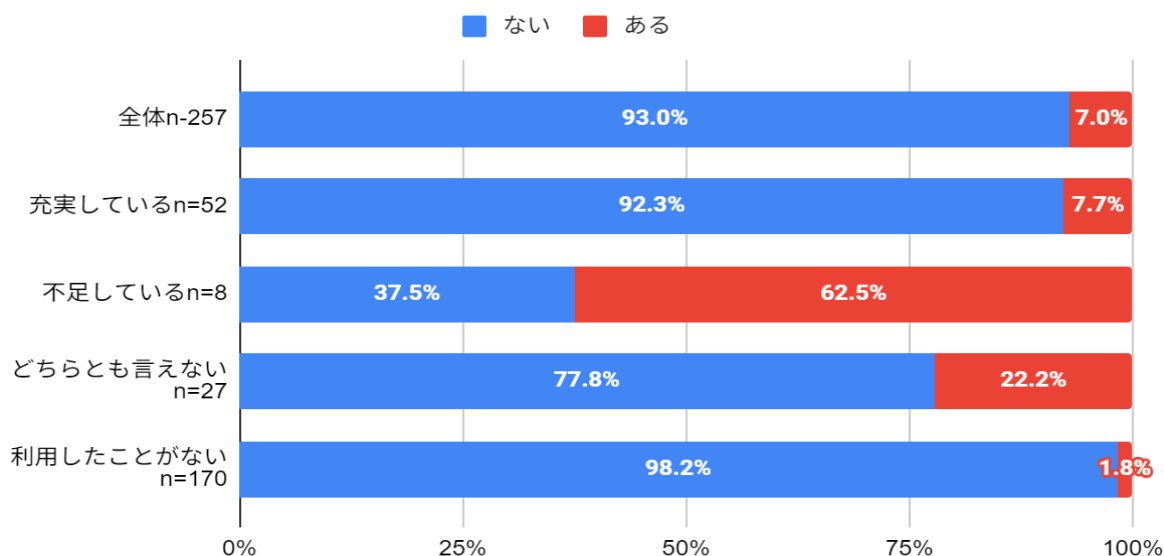
保健室利用状況×保健室等に対する要望



■Q12 健康管理やカウンセリング体制×Q13 保健室等に対する要望

健康管理やカウンセリング体制については「不足している」と回答した学生の保健室等への要望の割合が最も高く、ついで「どちらとも言えない」の要望の割合が高い。

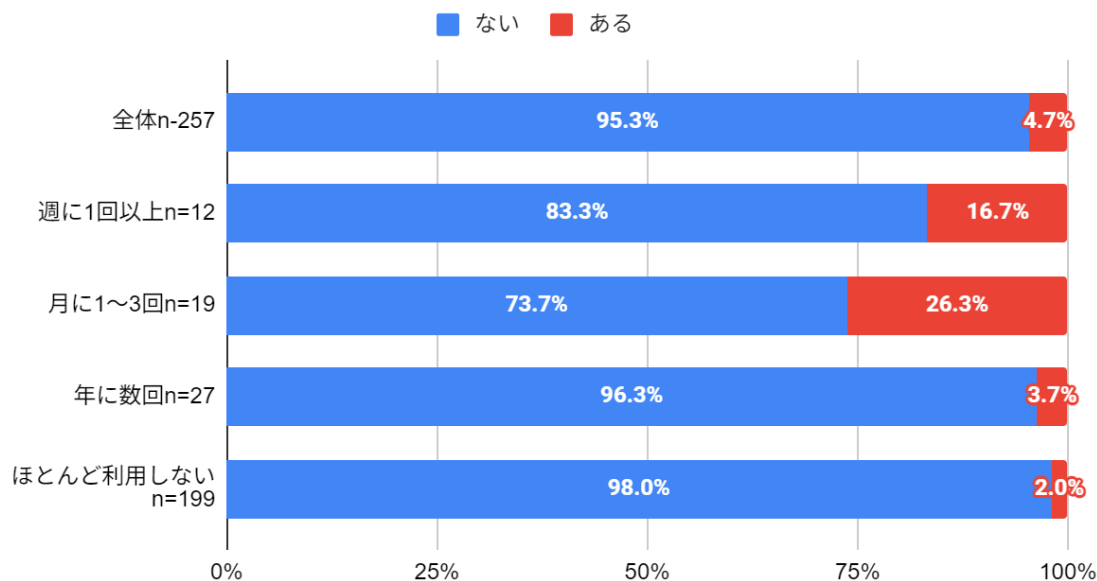
健康管理やカウンセリング体制×保健室等に対する要望



■Q14 体育館利用頻度×Q14 体育館に対する要望

体育館利用頻度が「月に1～3回」と回答した学生が体育館に対する要望が最も高くなっている。

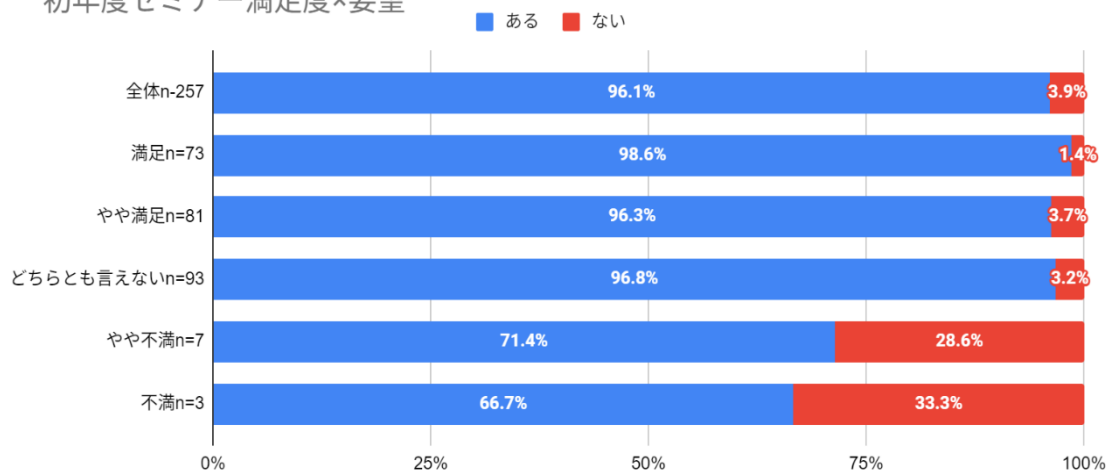
体育館利用頻度×体育館に対する要望



■Q25 初年次セミナー満足度×Q26 初年次セミナーに対する要望

初年次セミナーに対する満足度が低いほど、初年次セミナーに対する要望「ある」割合が高くなっている。

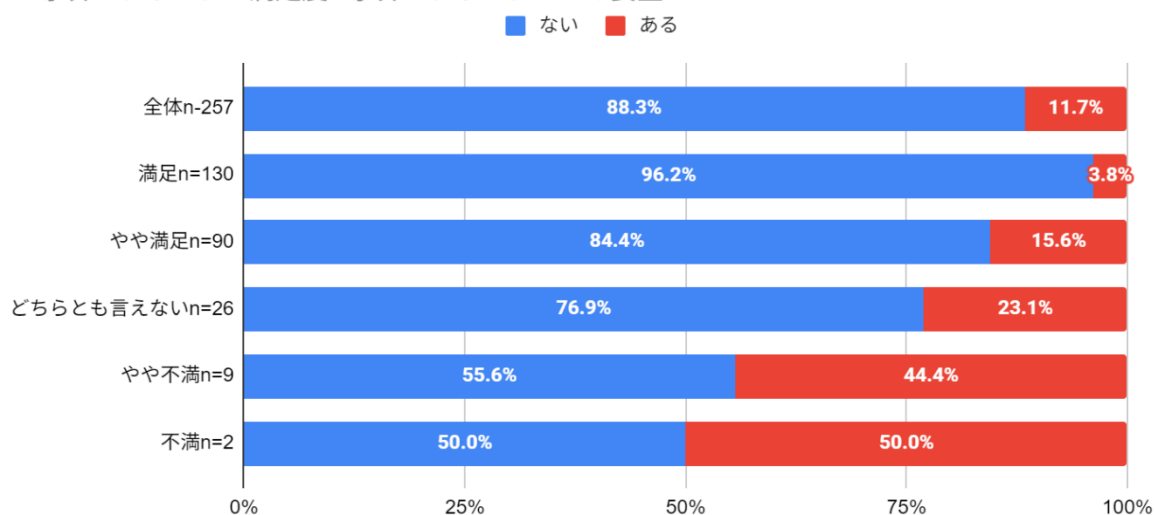
初年度セミナー満足度×要望



■Q31 所属する学部（専攻）のカリキュラムや教育に対する満足度 ×Q32 カリキュラムに対する要望

所属する学部（専攻）のカリキュラムに対する満足度が低いほど、カリキュラムに対する要望が「ある」割合が高くなっている。

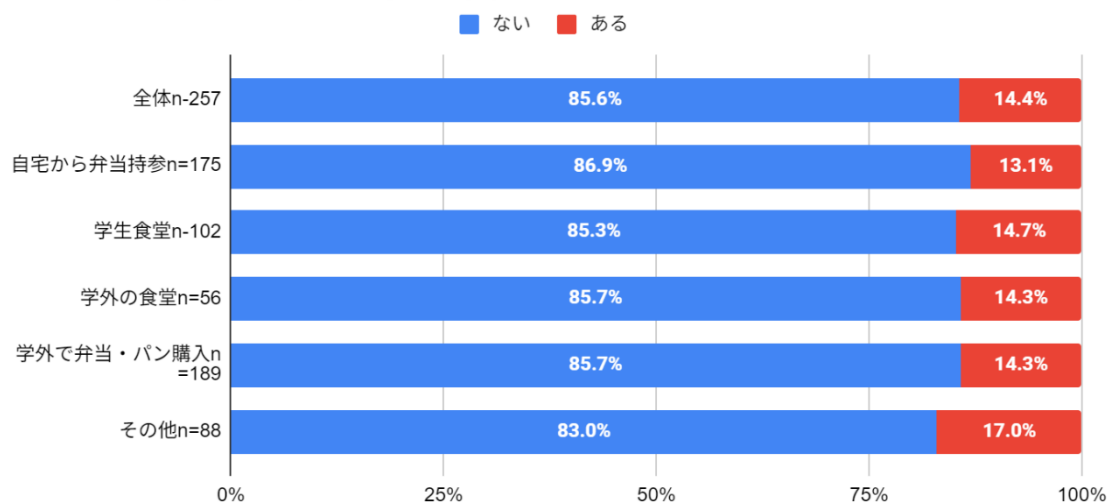
専攻カリキュラム満足度×専攻カリキュラムへの要望



■Q34 昼食手段（複数回答）×Q37 学生食堂に対する要望

昼食手段ごとの学生食堂に対する要望について大きな差異は認められなかった。

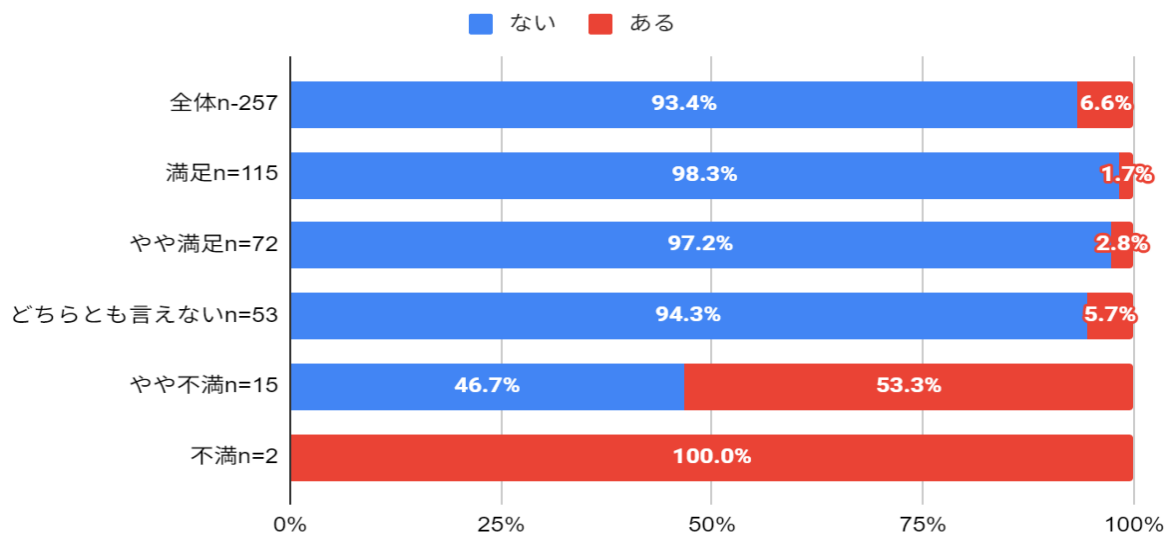
昼食手段×学生食堂に対する要望



■Q38 事務職員対応への満足度（複数回答）×Q39 事務職員対応に対する要望

事務職員対応の満足度が低いほど、事務職員対応に対する要望が「ある」の割合が高くなっている。

事務職員対応の満足度×事務職員対応に対する要望



■ 学年×Q40 卒業後の希望進路

全体で最も割合の高い「進学」は3年次～4年次に高まることが確認できる。また「未定」の割合は大学4年までいったん低下するが、大学院進学後に割合が高まっていくことが確認できる。

「教員」、「公務員」の希望についても、3～4年次で低下。半面「民間企業」の割合は2年次から4年次にかけて高まり、大学院1年次で一度低下している。

